

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン実践 I	必修	36時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
今井 真由美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
営業事務全般・経理事務全般の書類作成・データ作成等をPCにて管理・接客経験あり	

## (3) 授業概要

WORD3級の検定合格を目標として、時間内に早く・正確に効果的な文書作成ができること。
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

文書作成に加え、作業中のエラーや周辺機器の使用についても対応できるようになること。
---

## (5) 成績評価方法・基準

Word文書処理技能認定試験 3級合否・授業への意欲・態度・関心度を4:3:3で評価する
--

## (6) 使用教材・教具

Microsoft Word3級クイックマスター基本編、Word文書処理技能認定試験3級問題集、パソコン、USB
--

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 パソコン実践 I

W	時間	授業内容	授業方法
後期 7	1	オリエンテーション	wordの基本 文字の入力と基本操作  プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	2	windows基礎・入力練習 クイックマスター	
	3	chapter1,chapter2	
後期 8	4	入力練習 クイックマスター chapter3,chapter6	文書の編集 表を使った文書の作成  プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	5		
	6		
後期 9	7	入力練習 クイックマスター chapter4,chapter7	文書の印刷 図形や画像を使った文書の作成  プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	8		
	9		
後期 10	10	入力練習 クイックマスター chapter5	文書の作成  プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	11		
	12		
後期 11	13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題1、2	演習
	14		
	15		
後期 12	16	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題3、4	演習
	17		
	18		
後期 13	19	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題5、6	演習
	20		
	21		
後期 14	22	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題7、8	演習
	23		
	24		
後期 15	25	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題9、10	演習
	26		
	27		
後期 16	28	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題1→採点 模擬問題2	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	29		
	30		



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
異文化研究	必修	38
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科・1年 / IT医療情報学科・1年 / ビジネスライセンス学科・1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>コロナ禍のため実際に海外へ渡航することはできないが、将来的に行くことを想定して訪問する国や都市に関して事前に情報収集を行い、行動計画を作成する。行動計画はグループ単位で発表を行い、その完成度や魅力を投票によって競う。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>当校の運営理念である「世界的視野を持った学生の輩出」が目標となる。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>出席率、授業態度(現地滞在中の行動も含む)、グループワークへの貢献度、提出課題や発表の内容などを総合的に判断する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

NBC作成の独自教材
------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
後期4	1	異文化研究、海外研修の目的、概要など	講義
後期5	2	グループ編成、研究する国の検討	講義、グループワーク
後期6	3	国の概要、文化、歴史、名所等調査	グループワーク
後期7	4	〃	〃
後期8	5	〃	〃
後期	6	行動計画作成	〃
9	7	〃	〃
	8	〃	〃
後期	9	〃	〃
10	10	〃	〃
	11	〃	〃
後期	12	〃	〃
11	13	〃	〃
	14	〃	〃
後期	15	行動計画発表用資料作成	〃
12	16	〃	〃
	17	〃	〃
後期	18	〃	〃
13	19	〃	〃
	20	〃	〃
後期	21	〃	〃
14	22	〃	〃
	23	〃	〃
後期	24	〃	〃
15	25	〃	〃
	26	〃	〃
後期	27	行動計画発表(動画作成⇒提出)	〃
16	28	〃	〃
	29	〃	〃
後期17	30	〃	〃



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医科レセプト対策	必修	33時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

1. 医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ)の合格を目指す。
2. 医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解する。
3. 医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を身につける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ) 合格

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

医学通信社 診療点数早見表、ソラスト サポートブック、  
つちや出版 医療秘書技能検定実問題集 2級・3級(教員のみ)、筆記用具、電卓

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 レセプト対策

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	1	導入・試験説明	講義	
	16	2	検体検査管理加算・画像診断管理加算問題	講義
		3	検体検査管理加算・画像診断管理加算問題解説	講義
		4	検定試験レセプト解き方解説・外迅検問題解説	講義
		5	検定試験レセプト解き方解説	講義
		6	検定試験問題集 演習	演習
前期	7	検定試験問題集 演習	演習	
	17	8	検定試験問題集 演習	演習
		9	検定試験問題集 演習	演習
前期	10	検定試験問題集 演習	演習	
	18	11	検定試験問題集 演習	演習
		12	検定試験問題集 演習	演習
		13	検定試験問題集 演習	演習
		14	検定試験問題集 演習	演習
		15	検定試験問題集 演習	演習
後期	16	検定試験問題集 演習	演習	
	1	17	検定試験問題集 演習	演習
		18	検定試験問題集 演習	演習
後期	19	検定試験問題集 演習	演習	
	2	20	検定試験問題集 演習	演習
		21	検定試験問題集 演習	演習
後期	22	検定試験問題集 演習	演習	
	5	23	検定試験問題集 演習	演習
		24	検定試験問題集 演習	演習
後期	25	検定試験問題集 演習	演習	
	6	26	検定試験問題集 演習	演習
		27	検定試験問題集 演習	演習
後期	28	検定試験問題集 演習	演習	
	7	29	検定試験問題集 演習	演習
		30	検定試験問題集 演習	演習



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医科レセプト対策

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	検定試験問題集 演習	演習
	32	検定試験問題集 演習	演習
	33	検定試験問題集 演習	演習
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医学知識	必修	66時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は医療秘書技能検定取得を目的とし、領域Ⅱ分野の知識を身につけるための授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・人体の解剖生理の基礎知識を理解できる
- ・頻度の高い疾病について理解できる
- ・検査及び画像診断の名称と一般的な医学略語を理解できる
- ・診療録、看護録の基本を理解できる

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度、授業内で行うテスト、検定結果を総合的に評価する

## (6) 使用教材・教具

基礎医学教科書、プリント、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医学知識

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	1	検定説明・総論～身体の方向・面・区分の表現方法	教科書と補助プリントを使用した講義	
	15	2	総論～身体の方向・面・区分の表現方法	教科書と補助プリントを使用した講義
		3	総論～人体の構成要素～	教科書と補助プリントを使用した講義
		4	総論～人体の構成要素～	教科書と補助プリントを使用した講義
		5	神経系・感覚器系	教科書と補助プリントを使用した講義
		6	神経系・感覚器系	教科書と補助プリントを使用した講義
前期		7	神経系・感覚器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	16	8	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
		9	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
		10	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
		11	循環器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
		12	循環器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
前期		13	血管・リンパ系	教科書と補助プリントを使用した講義
	17	14	血管・リンパ系と免疫	教科書と補助プリントを使用した講義
		15	血液～体液の成分と役割～	教科書と補助プリントを使用した講義
		16	血液～血液の組織～	教科書と補助プリントを使用した講義
		17	血液～血液の組織～	教科書と補助プリントを使用した講義
		18	血液系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
前期		19	運動器系～骨格系～	教科書と補助プリントを使用した講義
	18	20	運動器系～骨格系～	教科書と補助プリントを使用した講義
		21	運動器系～運動を行う筋系～	教科書と補助プリントを使用した講義
		22	運動器系～運動を行う筋系～	教科書と補助プリントを使用した講義
		23	泌尿器系～腎臓・尿路の形態と機能～	教科書と補助プリントを使用した講義
		24	泌尿器系～腎臓・尿路の形態と機能～	教科書と補助プリントを使用した講義
後期		25	泌尿器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	1	26	泌尿器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
		27	内分泌系～内分泌系の働き～	教科書と補助プリントを使用した講義
		28	内分泌系の種類	教科書と補助プリントを使用した講義
		29	内分泌系臓器の分布と機能	教科書と補助プリントを使用した講義
		30	内分泌系臓器の分布と機能	教科書と補助プリントを使用した講義

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医学知識

W	時間	授業内容	授業方法	
後期	31	医療用語と英略語	プリントを使用した演習	
	2	32	呼吸器系～呼吸器の解剖～	教科書と補助プリントを使用した講義
		33	呼吸器系～呼吸器の解剖～	教科書と補助プリントを使用した講義
	34	呼吸器系の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義	
	35	医療用語と英略語	プリントを使用した演習	
	36	消化器系の解剖と機能	教科書と補助プリントを使用した講義	
後期	37	消化器系の解剖と機能	教科書と補助プリントを使用した講義	
	3	38	消化管の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
		39	消化管の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
	40	医療用語と英略語	プリントを使用した演習	
	41	生殖器系	教科書と補助プリントを使用した講義	
	42	生殖器系	教科書と補助プリントを使用した講義	
後期	43	生殖器系の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義	
	4	44	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
		45	感染症の種類	教科書と補助プリントを使用した講義
後期	46	感染症の種類	教科書と補助プリントを使用した講義	
	5	47	アレルギー疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
		48	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
	49	総論～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	50	神経系・感覚器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	51	循環器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	52	血液系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	53	運動器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	54	泌尿器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
後期	55	内分泌系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	6	56	呼吸器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
		57	消化器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	58	消化器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	59	医療用語と英略語～まとめ問題～	プリントを使用した演習	
	60	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習	



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療関連法規	必修	33時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

「健康保険法」を中心とした医療関連法規の概要を学び、特にわが国の医療保険制度に関する理解を深める。医療事務員として必要となる法令を理解する。また、医療秘書検定領域Ⅰの出題範囲の内容として合格に向けた答案練習を実施する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・医療保険制度の仕組み、概要を理解し、覚え、医療事務員として仕事をする際に保険証から保険の種類が読み取れるようになる。
- ・健康保険法を中心とした保険制度の内容について、大まかには窓口で患者様に説明ができる。
- ・医療秘書検定領域Ⅰの出題内容を理解し、合格する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①医療秘書検定の合否②授業内で実施するチェックテストの結果③授業態度 を4:3:3の比率で総合的に評価する。

## (6) 使用教材・教具

「医療関連法規」テキスト、プリント教材、医療秘書検定過去問題、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医療関連法規
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 15	1	医療秘書検定出題範囲の説明	講義
	2	医療保険制度の復習	補助プリントを使用しての講義
	3	医療保険制度の復習	補助プリントを使用しての講義
前期 16	4	医療保険制度の復習	チェックテスト実施
	5	健康保険法 総則	テキスト解説、補助プリントを使用
	6	保険者、被保険者	テキスト解説、補助プリントを使用
前期 18	7	健康保険法総則、保険者、被保険者	チェックテスト実施
	8	保険医療機関、保険医	テキスト解説、補助プリントを使用
	9	保険給付	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 1	10	保険外併用療養費	テキスト解説、補助プリントを使用
	11	保険医療機関、保険医、保険給付、保険外併用療養費	チェックテスト実施
	12	診療費以外の保険給付	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 2	13	高額療養費	テキスト解説、補助プリントを使用
	14	日雇い特例被保険者	テキスト解説、補助プリントを使用
	15	診療費以外の保険給付、高額療養費、日雇い特例被保険者	チェックテスト実施
後期 3	16	健康保険法以外の被用者保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	17	船員保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	18	共済組合	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 4	19	国民健康保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	20	後期高齢者医療制度	テキスト解説、補助プリントを使用
	21	労災保険	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 5	22	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
	23	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
	24	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
後期 6	25	模擬試験	検定試験問題集を使用
	26	模擬試験	検定試験問題集を使用
	27	模擬試験	検定試験問題集を使用
後期 7	28	模擬試験	検定試験問題集を使用
	29	模擬試験	検定試験問題集を使用
	30	模擬試験	検定試験問題集を使用

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療関連法規

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	模擬試験	検定試験問題集を使用
	32	模擬試験	検定試験問題集を使用
	33	模擬試験	検定試験問題集を使用
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療秘書実務	必修	18時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

<p>本授業は、医療秘書全国協議会 医療秘書技能認定試験2級、3級の取得に向け、医療秘書の職務と役割の理解、業務能力、情報処理の知識・能力、倫理観について演習と講義を通して身に付ける。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>3級</p> <p>(1) 医療秘書の初歩的な業務を、指示通り確実に実行することができる。</p> <p>(2) 医療従事者の守秘義務の重要性について、理解している。</p> <p>(3) 医療秘書の、職務と役割を理解し、マナー・接遇の基本を心得ている。</p> <p>(4) 医療機関における受付業務に関する知識と技能を持ち、基本的な応対ができる。</p> <p>2級</p> <p>(1) 医療秘書の職務と役割をよく理解した上で、指示通り確実に実行する能力があり、状況に応じた判断力、行動力がある。</p> <p>(2) 医療秘書に求められるコミュニケーション能力を十分に理解している。</p> <p>(3) 医療秘書の定型的業務は勿論のこと、やや複雑な業務を遂行する能力がある。</p> <p>(4) 院内・院外文書の作成と取り扱いができ、ファイリングに対する基礎知識がある。</p> <p>(5) 医療従事者の職業倫理を理解している。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>医療秘書技能検定試験実問題集、実践ビジネスマナー、ipad、筆記用具</p>
---

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医療秘書実務
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	動機づけ、授業の進め方	講義
	16	2	医療秘書の心構え、資質
前期	3	医療秘書の身だしなみ	講義と演習
	17	4	指示と報告、挨拶とおじぎ
前期	5	医療秘書と企業秘書の違い	講義と演習
	18	6	敬語、言葉遣い、電話対応、患者サービス、院内文書
後期	7	宛名の敬称、名刺	講義と演習
	1	8	医療秘書の人間関係、医師・患者とのコミュニケーション
後期	9	病棟クラークの役割、患者の心理、患者サービス	講義と演習
	2	10	院内の環境整備、医事業務
後期	11	院内会議準備、カンファレンスの心得	講義と演習
	3	12	電子メールの扱い、グラフ、封筒の書き方
後期	13	返信はがきの書き方、ファイリング	講義と演習
	4	14	スケジュール管理、患者クレーム対応
後期	15	守秘義務、個人情報保護法	講義と演習
	5	16	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト
後期	17	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト	テストと解説
	6	18	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療保険事務	必修	276時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

1. 医療事務管理士技能認定試験 医科の合格を目指す。  
①外来レセプト作成 ②入院レセプト作成 ③レセプト点検 ④医療保険制度の知識
2. 医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解する。
3. 医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を身につける。
4. 医療保険の知識と、医療保険制度の仕組みを理解する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医療事務管理士技能認定試験 医科 合格率90%以上

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

ソラスト テキスト1～5・診療報酬明細書、医学通信社 診療点数早見表、電卓、筆記用具  
ソラスト 学習レポート集(教員のみ)、医学通信社 診療報酬完全マスタードリル(教員のみ)

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法	
前期 1W	1	テキスト1 第1章 医療機関と薬局、練習問題	講義と演習	
	2,3	テキスト1 第1章 医療保障制度	講義	
	4	練習問題、検定問題類似プリント①	講義と演習	
	5	テキスト1 第2章 保険給付 ②まで	講義	
	6	練習問題 問1のみ、第1回レポート問1. 2	講義と演習	
	7	検定問題類似プリント②	講義と演習	
	8	検定問題問3類似プリント 保険者番号のみ	講義と演習	
	9,10	テキスト1 第2章 保険給付 ③から	講義	
	11	練習問題、第1回レポート問3 1のみ	講義と演習	
	12	検定問題類似プリント③	講義と演習	
	13	検定問題類似プリント④～⑤	講義と演習	
	14,15	テキスト2 第1章 医科医療事務の仕事、練習問題	講義と演習	
	16	レポート問3 2、問4と検定問題類似プリント⑥	講義と演習	
	17	テキスト2 第1章 レセプトの基礎知識	講義	
	18	練習問題、トレーニングブック 上書き1～2号	講義と演習	
	19	トレーニングブック 上書き3～6号	講義と演習	
	20, 21	テキスト2 第1章 点数算定の原則	講義	
	22	テキスト2 第2章 初・再診料	講義	
	23	練習問題、第1回レポート問5～7	講義と演習	
	24	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	前期 2W	25	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
		26～28	テキスト2 第3章 医学管理等	講義
		29	練習問題、第1回レポート問8～10	講義と演習
		30,31	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
32～34		テキスト2 第4章 在宅医療	講義	
35,36		練習問題、第1回レポート問11	講義と演習	
37		テキスト1 第2章 高額療養費・保険外併用療養費	講義	
38		練習問題 問1のみ、第1回レポート問1. 2	講義と演習	
39		トレーニングブック7号	講義と演習	
40		トレーニングブック14号(チェックテスト)	演習	
41,42		テキスト2 第5章 投薬	講義	
43	練習問題、第1回レポート問3 1のみ	講義と演習		
44	練習問題、第2回レポート問1～3	講義と演習		
45	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習		
前期3W	46-48	トレーニングブック1～4号、解答	グループワークと演習	

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 3W	49~54	トレーニングブック1~4号、解答	グループワークと演習
	55	レポート1号(チェックテスト)、解説	演習
	56.57	テキスト2 第6章 注射	講義
	58	練習問題、第3回レポート問1. 2	講義と演習
	59.60	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	61~63	レポート2号(チェックテスト)、解説	グループワークと演習
前期 4W	64~69	トレーニングブック5~8号、解答	演習
	70~72	テキスト2 第7章 処置	講義
	73~77	トレーニングブック9~11号、解答	グループワークと演習
	78	練習問題、第3回レポート問3. 4(1のみ)	講義と演習
前期 5W	79.80	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	81	テキスト2 第8章 リハビリ	講義
	82. 83	練習問題、第3回レポート問4(2のみ)5	講義と演習
	84	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	85~87	レポート3号(チェックテスト)、解説	演習
	88~90	トレーニングブック12~13号、解答	グループワークと演習
	91~93	テキスト3 第1章 検査 検体検査	講義
	94~96	トレーニングブック14~15号、解答	グループワークと演習
前期 6W	97.98	テキスト3 第2章 検査 生体検査	講義
	99.100	トレーニングブック16~18号、解答	グループワークと演習
	101~104	トレーニングブック16~18号、解答	グループワークと演習
	105	練習問題、第4回レポート問1~4	講義と演習
	106.107	レポート4号(チェックテスト)、解説	演習
	108	テキスト3 第2章 病理診断	講義
	109	練習問題・診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	110.111	テキスト2 第2章 手術	講義
	112	テキスト3 第3章 麻酔	講義
	113	練習問題、第4回レポート問5~8	講義と演習
	114~117	トレーニングブック19~21号、解答	グループワークと演習
前期 7W	118~120	レポート5号(チェックテスト)、解説	演習
	121.122	トレーニングブック22号、解答	グループワークと演習
	123	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	124.125	レポート6号(チェックテスト)	演習
	126	レポート6号(チェックテスト)解説	演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 7W	127~128	テキスト3 第4章 画像診断	講義
	129	練習問題、第5回レポート問1~4	講義と演習
	130~132	トレーニングブック23~25号	グループワークと演習
	133~135	トレーニングブック26~28号	
	136	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
前期 8W	137~141	トレーニングブック29~31号	グループワークと演習
	142	テキスト1 第3章 公費負担医療	講義
	143	テキスト1 第3章 労災保険・介護保険	講義
	144	練習問題、検定問題類似プリント⑦~⑧	講義と演習
	145,146	レポート7号(チェックテスト)解答	演習
	147,148	テキスト3 第5章 精神科専門療法・放射線治療	講義
	149	練習問題、第1回レポート問4, 5、第5回レポート問6~10	講義と演習
	150	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	151~156	トレーニングブック34~36号、解答	グループワークと演習
前期 9W	157~160	トレーニングブック37~39号、解答	グループワークと演習
	161~163	レポート8号(チェックテスト)、解説	演習
	164,165	テキスト3 第6章 入院	講義
	166~168	トレーニングブック44~50号解答	グループワークと演習
	166~170	トレーニングブック44~50号解答	グループワークと演習
	171	テキスト3 第7章 点検	講義
	172	練習問題、第5回レポート問5、問11~12	講義と演習
	173	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	174,175	トレーニングブック32・33号、解答	グループワークと演習
	176,177	学科対策プリント	講義と演習
前期 10W	178~180	トレーニングブック40~41号解答	グループワークと演習
	181~184	トレーニングブック42~43号解答	グループワークと演習
	185~187	レポート9号(チェックテスト)、解説	演習
	188~195	検定試験問題集 演習	演習
前期 11~ 14	196~216	検定試験問題集 演習	演習
	217~231	検定試験問題集 演習	演習
	232~252	検定試験問題集 演習	演習
	253~276	検定試験問題集 演習	演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動Ⅰ	必修	36時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

1年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。

## (5) 成績評価方法・基準

出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。

## (6) 使用教材・教具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動 I

W	時間	授業内容	授業方法
オリテ	1	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	2	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	3	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
前4	4	避難訓練	避難経路、避難場所確認
前13	5	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	6	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	7	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	8	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	9	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	10	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	11	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
調整	12	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	13	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	14	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	15	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	16	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	17	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
後4	18	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	19	大運動会	トラック、フィールド競技
	20	大運動会	トラック、フィールド競技
	21	大運動会	トラック、フィールド競技
	22	大運動会	トラック、フィールド競技
	23	大運動会	トラック、フィールド競技
	24	大運動会	トラック、フィールド競技



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動 I

W	時間	授業内容	授業方法
後5	25	国内研修	コミュニケーション研修
	26	国内研修	コミュニケーション研修
	27	国内研修	コミュニケーション研修
	28	国内研修	コミュニケーション研修
	29	国内研修	コミュニケーション研修
	30	国内研修	コミュニケーション研修
	31	国内研修	コミュニケーション研修
	32	国内研修	コミュニケーション研修
	33	国内研修	コミュニケーション研修
	34	国内研修	コミュニケーション研修
	35	国内研修	コミュニケーション研修
	36	国内研修	コミュニケーション研修

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語 I	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式で進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語 I の範囲内では720レッスンあるが、どのレッスンを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>グローバル社会という言葉が用いられてからしばらくが経過しているが日本人の英語力は世界水準よりも下回ったままである。そこで日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階としては一般的な日常表現や言い回しを理解し、自己紹介などのやりとりができるようになることを目標とする。次の段階では家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具</p>
--

## (7) 授業にあたっての留意点

<p>スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。</p>
--

## (8) その他

<p></p>
---------

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 基礎英語 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	Be動詞の現在形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	3	一般動詞の現在形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	7W2Hを使った疑問文	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	5	助動詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	過去形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	7	未来形・現在進行形	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	提案・勧誘の重要表現	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	9	SVC	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	SVOO	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	11	前置詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	代名詞	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	13	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	15	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	重要表現を学ぶ	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎演習	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>株式会社ウイネットが開発、販売を行っている学習アプリ「myトレーニング」を活用したeラーニング形式の授業。学生は各自のペースで国語・数学の問題を解く。誤った箇所は解説を確認し、同様の単元の問題を解くことを繰り返す。進捗状況は担任が管理画面で把握し、フォローを行う。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>学生の基礎学力の習熟状況が様々であるため、専門学校等に入学後、専門知識修得が難しい学生存在する。こうした学生だけでなく、全入学生に対して、中・高で学んだ国語や数学の問題に取り組みさせることで、全学生の基礎学力を底上げし、専門知識を養う授業へとスムーズに移行することを目指す。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>授業態度：管理画面による進捗状況の把握で主体性・積極性などを評価する。また、期末にテストを行い成績評価の判断材料とする。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>学習アプリ「myトレーニング」、スマートフォンまたはタブレット(PCでも可)</p>
---

## (7) 授業にあたっての留意点

<p>eラーニングは主体的に取り組むことを前提とした学習形式であるため、個々に学習スケジュールを立て、計画的に学習に取り組むこと。</p>
---

## (8) その他

<p></p>
---------

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 基礎演習

W	時間	授業内容	授業方法
	1	分数と小数	myトレーニングをつかったeラーニング
	2	割合	myトレーニングをつかったeラーニング
	3	速さ	myトレーニングをつかったeラーニング
	4	正の数・負の数	myトレーニングをつかったeラーニング
	5	文字式の計算	myトレーニングをつかったeラーニング
	6	方程式とその解き方	myトレーニングをつかったeラーニング
	7	比例・反比例の利用	myトレーニングをつかったeラーニング
	8	図形の基礎	myトレーニングをつかったeラーニング
	9	連立方程式とその解き方	myトレーニングをつかったeラーニング
	10	方程式とグラフ	myトレーニングをつかったeラーニング
	11	確率	myトレーニングをつかったeラーニング
	12	敬語	myトレーニングをつかったeラーニング
	13	文法	myトレーニングをつかったeラーニング
	14	言葉の意味	myトレーニングをつかったeラーニング
	15	表記	myトレーニングをつかったeラーニング
	16	漢字	myトレーニングをつかったeラーニング
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
社会人常識マナー	必修	28時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

- ①社会人常識マナー検定の合格を目指す。
- ②コミュニケーション能力向上をはかる。
- ③就職の筆記試験へ対応できる基礎学力を身につける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

社会人常識マナー検定合格

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

全経公式テキスト 社会人常識マナー検定テキスト2・3級、補助プリント

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 社会人常識マナー
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
後期 9	1	動機づけ,社会人とは	講義
	2	一般常識①	講義と演習
	3	一般常識②	講義と演習
	4	一般常識②-2,一般常識③-1	講義と演習
後期 10	5	一般常識③-2	講義と演習
	6	一般常識④	講義と演習
	7	一般常識⑤	講義と演習
	8	一般常識⑥	講義と演習
後期 11	9	一般常識⑦-1	講義と演習
	10	一般常識⑦-2	講義と演習
	11	一般常識⑧-1	講義と演習
	12	一般常識⑧-2	講義と演習
後期 12	13	一般常識⑨	講義と演習
	14	一般常識⑩	講義と演習
	15	コミュニケーション①,計算問題	講義と演習
	16	コミュニケーション②,計算問題	講義と演習
後期 14	17	コミュニケーション③,計算問題	講義と演習
	18	ビジネスマナー①,計算問題	講義と演習
	19	ビジネスマナー②,計算問題	講義と演習
	20	ビジネスマナー③,計算問題	講義と演習
	21	ビジネスマナー④,計算問題	講義と演習
	22	検定試験問題集を使用したテスト	演習
後期 15	23	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	24	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	25	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	26	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	27	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	28	検定試験問題集を使用したテスト	演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務 I (実践行動学含む)	必修	75時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
成田 千里、佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

1. 1年間における全員受験の検定合格や在学中の目標を定め、モチベーションを向上させる。
2. 社会人としての姿勢・マナーを身につける。
3. 在学中の問題や学生が抱える困難にいち早く気づき、早急に対応できる環境を作る。
4. 就活生としての自覚を身につけ、求職登録に合格する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

在校生の目標達成  
求職登録 合格

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度・提出物の状況80%、出席率20%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

実践行動学研究所 夢実現のための実践行動学、ウイネット 動画で学ぶ就活ナビ

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--



【別紙】

# 授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I (実践行動学含む)

W	時間	授業内容	授業方法
前期1	1	ホームルーム(動機付け)	講義
前期2	2	実践行動学part1	グループワーク
前期3	3	実践行動学part1	グループワーク
前期4	4	実践行動学part1	グループワーク
	5	実践行動学part1	グループワーク
	6	実践行動学part1	グループワーク
	7	実践行動学part1	グループワーク
	8	ホームルーム(モチベーション自己診断)	講義
	9	実践行動学part1 振り返り(ステップアップシート)	グループワーク
前期5	10	ホームルーム(ライフデザインナビ I)	講義
前期6	11	ホームルーム(万代清掃)	実習
前期7	12	ホームルーム(万代清掃)	実習
前期8	13	ホームルーム(万代清掃)	実習
前期9	14	ホームルーム(HyperQU)	講義
前期10	15	実践行動学part1 振り返り(ステップアップシート)	グループワーク
前期11	16	実践行動学part2	グループワーク
前期13	17	実践行動学part2	グループワーク
前期14	18	実践行動学part2	グループワーク
前期15	19	実践行動学part2	グループワーク
前期16	20	実践行動学part2	グループワーク
	21	実践行動学part2	グループワーク
前期17	22	就職動画の使い方について	講義
	23	これから、どう生きていくのか(早期離職について)	講義とグループワーク
前期18	24	社会に求められる人材とは(自己分析)	講義とグループワーク
	25	チャンスを逃さない	講義とグループワーク
	26	働く理由を考える	講義とグループワーク
	27	職種について考える	講義とグループワーク
	28	伝わる文章の書き方	講義とグループワーク
	29	相手を納得させる論理力	講義とグループワーク
後期4	30	構成を考える	講義とグループワーク

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名

W	時間	授業内容	授業方法
後期4	31	今後の就職活動の流れについて	講義とグループワーク
後期5	32	求職登録の概要説明、求職票の書き方、記入	講義とグループワーク
	33	面接入室動作説明、練習	講義とグループワーク
後期6	34	面接入室動作説明、練習	講義とグループワーク
	35	面接入室動作説明、練習	講義とグループワーク
後期7	36	履歴書・エントリーシートの書き方	講義とグループワーク
	37	履歴書・エントリーシートの書き方	講義とグループワーク
後期9	38	卒業生講話	講義
	39	卒業生講話	講義
	40	自己PRのネタを探す	講義とグループワーク
	41	自己PRのネタを探す	講義とグループワーク
	42	自己PRの骨格をつくる	講義とグループワーク
	43	自己PRの骨格をつくる	講義とグループワーク
	44	説得力のある自己PRをつくる	講義とグループワーク
	45	志望動機をつくる	講義とグループワーク
	46	志望動機をつくる	講義とグループワーク
	47	ディスカッション(違いを考える)	講義とグループワーク
	48	ディスカッション(違いを考える)	グループワーク
49	ディスカッション(違いを考える)	グループワーク	
後期10	50	コミュニケーションは「きく」から始まる・面接練習	演習
	51	「話す」は「全身表現」・面接練習	演習
後期11	52	日本語の発声法・面接練習	演習
	53	緊張は友達・面接練習	演習
後期12	54	リズムカルに話す・面接練習	演習
	55	身だしなみ・面接練習	演習
後期13	56	面接のマナー・面接練習	演習
	57	面接のマナー・面接練習	演習
後期14	58	面接のマナー・面接練習	演習
	59	面接試験対策・面接練習	演習
後期15	60	面接試験対策・面接練習	演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名

W	時間	授業内容	授業方法
後期15	61	面接試験対策・面接練習	演習
後期 16	62	面接試験対策・面接練習	演習
	63	面接試験対策・面接練習	演習
	64	面接試験対策・面接練習	演習
	65	面接試験対策・面接練習	演習
	66	面接試験対策・面接練習	演習
	67	面接試験対策・面接練習	演習
後期 17	68	面接試験対策・面接練習	演習
	69	面接試験対策・面接練習	演習
	70	面接試験対策・面接練習	演習
	71	面接試験対策・面接練習	演習
	72	面接試験対策・面接練習	演習
	73	面接試験対策・面接練習	演習
後期 18	74	面接試験対策・面接練習	演習
	75	ホームルーム	講義
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
接遇実習	必修	32時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香・牧浦 舞香	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療機関での正しい患者対応の基礎を身につける。</li> <li>2. 社会人としての正しい姿勢、お辞儀、挨拶、言葉づかいを身につける。</li> <li>3. 電話対応、受付対応、ご案内、お茶出しのマナーを身につける。</li> <li>4. 病院実習における医療機関スタッフとしての心構えを学び、実習の準備を整える。</li> </ol>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>医療秘書技能検定試験の医療秘書実務分野の基礎を理解する。          医療従事者としての心構えを理解する。          正確な電話対応ができる。          患者様の目線に立った、窓口対応ができる。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、授業態度30%、提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>ウイネット 社会でいきる実践ビジネスマナー、筆記用具</p>
-----------------------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

<p></p>
---------

## (8) その他

<p></p>
---------

【別紙】

# 授 業 計 画 書

科目名 接遇実習

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	身だしなみ(髪・ヒール:3cm以内・足組禁等)	テキストを使用し説明、実践
	2	立つ姿勢・お辞儀・椅子の立ち座り(動き)	テキストを使用し説明、実践
前期	3	【実習室】接遇とは・歩き方	テキストを使用し説明、実践
	4	【実習室】接遇とは・歩き方	ロールプレイ
前期	5	【実習室】立ち姿 お辞儀 初診受付	テキストを使用し説明、実践
	6	【実習室】立ち姿 お辞儀 初診受付	ロールプレイ
前期	7	【実習室】言葉遣いの基本	テキストを使用し説明、実践
	8	【実習室】言葉遣いの基本	ロールプレイ
前期	9	【実習室】受付対応の流れ	テキストを使用し説明、実践
	10	【実習室】受付対応の流れ	ロールプレイ
前期	11	【実習室】受付対応の流れ	ロールプレイ
	15	【実習室】取り次ぎの仕方	テキストを使用し説明、実践
前期	13	【実習室】取り次ぎの仕方	ロールプレイ
	16	【実習室】取り次ぎの仕方	ロールプレイ
前期	15	【実習室】案内の要領	テキストを使用し説明、実践
	18	【実習室】案内の要領	ロールプレイ
後期	17	【実習室】案内の要領	ロールプレイ
	1	席次、お茶の出し方	テキストを使用し説明、実践
後期	19	席次、お茶の出し方	ロールプレイ
	4	受付～取次～案内～お茶出し	ロールプレイ
後期	21	受付～取次～案内～お茶出し	ロールプレイ
	8	【実習室】電話対応	テキストを使用し説明、実践
後期	23	【実習室】電話対応	ロールプレイ
	9	電話対応練習	テキストを使用し説明、実践
後期	25	電話対応練習	ロールプレイ
	10	実技テスト説明、練習	ロールプレイ
後期	27	練習	ロールプレイ
	11	訪問の仕方	理論
後期	29	予約の断り方	理論
	12	30 実技テスト	テスト
後期	31	実技テスト	テスト
	13	32 実技テスト	テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
電子カルテ演習	必修	27時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎祐香 佐藤琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

<p>医療機関で働く医療事務従事者にとって必要である、医事コンピュータの仕組みと操作のルールについて理解すること。          医療機関に普及しつつある電子カルテの仕組みと操作のルール(SOAP)について理解すること。          医師と患者の問答形式の問題を見ながら早く正確なカルテを作成する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>次年度の電子カルテ実技検定の合格と、電子カルテシステムを理解する。並行して、他部門との連携やデータの共有についての知識を深める。          現実には医師・患者間の情報入力のため、入力定義に沿ってすばやく内容を判断できること。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>パソコン(学校のPCルーム) 医科サポートブック          カルテ例題集2022年度版 筆記用具          電子カルテシステムの理解と演習 2022年度版 C&amp;C電子カルテシステムⅡ / 操作テキスト 2022年度版</p>
---

## (7) 授業にあたっての留意点

<p></p>
---------

## (8) その他

<p></p>
---------

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 電子カルテ演習
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
後期 10	1	動機づけ、試験説明、 操作方法について理解する	講義
	2	電子カルテ検定について動機づけ、試験説明、 操作方法について理解する	操作については補助プリントを使用しての演習
	3	カルテ例題集より外来問題の入力 病院処置までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
後期 11	4	カルテ例題集より外来問題の入力 病院処置までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
	5	カルテ例題集より外来問題の入力 検査までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
	6	カルテ例題集より外来問題の入力 往診 5才～6才	問題集を使用しての講義と演習
後期 12	7	カルテ例題集より外来問題の入力 往診 5才～7才	問題集を使用しての講義と演習
	8	カルテ例題集より外来問題の入力 往診 5才～8才	問題集を使用しての講義と演習
	9	カルテ例題集より外来問題の入力 麻酔までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
後期 13	10	カルテ例題集より外来問題の入力 手術までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
	11	カルテ例題集より外来問題の入力 手術までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
	12	カルテ例題集より外来問題の入力 画像診断までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
後期 14	13	カルテ例題集より外来問題の入力 画像診断までの範囲	問題集を使用しての講義と演習
	14	11号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
	15	11号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
後期 15	16	12号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
	17	12号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
	18	13号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
後期 16	19	13号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
	20	14号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
	21	14号症例登録	テキストを使用しての講義と演習
後期 17	22	検定試験問題集を使用してのテスト	演習
	23	検定試験問題集を使用してのテスト	演習
	24	検定試験問題集を使用してのテスト	演習
後期 18	25	検定試験問題集を使用してのテスト	演習
	26	評価テスト	入力テスト
	27	評価テスト	入力テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
電卓演習	必修	18
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科・1年 / IT医療情報学科・1年 / ビジネスライセンス学科・1年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
成田 千里	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

電卓検定対策(操作方法解説、問題演習)
---------------------

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

全経電卓検定合格、電卓の基本操作の習得
---------------------

## (5) 成績評価方法・基準

検定結果および授業態度
-------------

## (6) 使用教材・教具

全経電卓検定過去問題
------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--





## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病院マネジメント	必修	50時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

1. 医療秘書技能検定試験の合格を目指す。
2. 医療事務員として働くにあたり、日本の医療機関の歴史と特徴を理解する。
3. 社会人として働くにあたり、組織の在り方と仕組みを理解する。
4. 医療保険の歴史や諸外国との違いと、医療保険制度の仕組みを理解する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医療秘書検定3級(領域 I)全員合格

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

建帛社 病院のマネジメント、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 病院マネジメント
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 4	1	導入・検定説明	講義
	2	病院の沿革	講義
前期 5	3	病院の沿革	講義
	4	確認テスト①	講義と演習
前期 6	5	病院の目的と機能	講義
	6	病院の目的と機能	講義
前期 7	7	確認テスト②	講義と演習
	8	診療部門	講義
前期 8	9	診療部門	講義
	10	診療部門	講義
前期 9	11	確認テスト③	講義と演習
	12	看護部門	講義
前期 10	13	看護部門	講義
	14	看護部門	講義
前期 11	15	看護部門	講義
	16	看護部門	講義
前期 12	17	確認テスト④	講義と演習
	18	副診療技術部門	講義
前期 13	19	副診療技術部門	講義
	20	副診療技術部門	講義
前期 15	21	副診療技術部門	講義
	22	事務部門	講義
	23	事務部門	講義
	24	事務部門	講義
前期 16	25	施設管理・環境整備部門	講義
	26	確認テスト⑤	講義と演習
前期 17	27	病院管理	講義
	28	病院管理	講義
前期 18	29	病院管理の方法	講義
	30	病院管理の方法	講義

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 病院マネジメント

W	時間	授業内容	授業方法
後期 1	31	病院の組織	講義
	32	病院の組織	講義
後期 2	33	確認テスト⑥	講義と演習
	34	病院会計 病院における人間関係のマネジメント	講義
後期 3	35	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	36	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
後期 4	37	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	38	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
後期 5	39	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	40	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	41	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
後期 6	42	確認テスト⑦	講義と演習
	43	検定試験問題集 演習	演習
	44	検定試験問題集 演習	演習
後期 7	45	検定試験問題集 演習	演習
	46	検定試験問題集 演習	演習
	47	検定試験問題集 演習	演習
後期 8	48	検定試験問題集 演習	演習
	49	検定試験問題集 演習	演習
	50	検定試験問題集 演習	演習
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病院実習	必修	40時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 IT医療情報学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
インターンシップ先	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

本授業は、学科の専門職となる医療機関での実習を経験し、指導担当者の元、医事課業務全般についての知見を深めていく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

実際の医療機関での医事課業務をインターンシップとして体験し、業務遂行に活かせるものとする。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業への貢献度、②マナー、実習姿勢、③報告書の記入を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

白衣、ネームプレート、実習日誌

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 病院実習
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
初日	1	実習概要説明	指導担当者の元でのインターンシップ
	2	院内見学	指導担当者の元でのインターンシップ
	3	再来受付機案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	4	新患受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	5		指導担当者の元でのインターンシップ
	6		指導担当者の元でのインターンシップ
	7		指導担当者の元でのインターンシップ
	8		指導担当者の元でのインターンシップ
2日目	9	新患受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	10	診察券発行	指導担当者の元でのインターンシップ
	11	レセプト確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	12	処方箋の変更	指導担当者の元でのインターンシップ
	13	請求書作成	指導担当者の元でのインターンシップ
	14		指導担当者の元でのインターンシップ
	15		指導担当者の元でのインターンシップ
	16		指導担当者の元でのインターンシップ
3日目	17	保険証確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	18	予約券、処方箋渡しのご案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	19	未収金の請求	指導担当者の元でのインターンシップ
	20	収納の確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	21		指導担当者の元でのインターンシップ
	22		指導担当者の元でのインターンシップ
	23		指導担当者の元でのインターンシップ
	24		指導担当者の元でのインターンシップ
4日目	25	再来受付機案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	26	書類預かり	指導担当者の元でのインターンシップ
	27	入院案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	28		指導担当者の元でのインターンシップ
	29		指導担当者の元でのインターンシップ
	30		指導担当者の元でのインターンシップ
	31		指導担当者の元でのインターンシップ
	32		指導担当者の元でのインターンシップ

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 病院実習

W	時間	授業内容	授業方法
5日目	33	レセプト確認補助	指導担当者元でのインターンシップ
	34	請求書作成	指導担当者元でのインターンシップ
	35	交通事故、労災請求業務	指導担当者元でのインターンシップ
	36	入院時確認リスト	指導担当者元でのインターンシップ
	37		指導担当者元でのインターンシップ
	38		指導担当者元でのインターンシップ
	39		指導担当者元でのインターンシップ
	40		指導担当者元でのインターンシップ

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
級別演習(医事コン3級)	選択	51時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

1. 診療報酬の具体的診療行為について全体を把握し、個々の診療行為・薬剤等を点数表と薬価表に従って正確なレセプトを作成できるようにする。
2. 医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解する。
3. 医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を身につける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

1. 前期に学習した内容を復習する。
2. 診療報酬請求事務能力認定試験に出題される診療行為について理解・算定ができる。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、授業への貢献度30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

医学通信社 診療点数早見表、ソラスト サポートブック、診療報酬請求事務能力認定試験用「最新問題と受験対策」(教員のみ)、筆記用具、電卓、補助プリント

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 級別演習(医事コン3級)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	1	医学管理料(外来)点数算定	点数早見表及び資料ブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
	2	医学管理料(外来)点数算定	
	3	医学管理料(入院)点数算定	
前期 17	4	投薬料(一般名処方)点数算定	点数早見表及び資料ブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
	5	投薬料(一般名処方)点数算定	
	6	投薬料(入院)点数算定	
前期 18	7	処置料(入院・外来)点数算定	点数早見表及び資料ブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
	8	処置料(入院・外来)点数算定	
	9	処置料点数算定	
後期 1	10	確認テスト(医学管理・投薬・処置料)	補助プリントを使用
	11	確認テスト(医学管理・投薬・処置料)	補助プリントを使用
	12	手術料点数算定	点数早見表及び資料ブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
後期 2	13	手術料点数算定	
	14	手術料点数算定	
後期 3	15	麻酔料(閉鎖循環式全身麻酔)点数算定	補助プリント及び資料ブックを使用して講義・演習
	16	麻酔料(閉鎖循環式全身麻酔)点数算定	
	17	麻酔料点数算定	補助プリントを使用して演習
	18	確認テスト(処置・手術・麻酔)	補助プリントを使用
後期 4	19	輸血料点数算定	補助プリント及び資料ブックを使用して講義・演習
	20	輸血料点数算定	
	21	確認テスト(手術・麻酔・輸血料)	補助プリントを使用
後期 5	22	リハビリテーション料(外来・入院)点数算定	補助プリント及び資料ブックを使用して講義・演習
	23	リハビリテーション料(外来・入院)点数算定	
	24	検査料・病理診断料点数算定	補助プリント及び資料ブックを使用して講義・演習
後期 6	25	検査料・病理診断料点数算定	
	26	画像診断料点数算定	資料ブック及び補助プリントを使用して講義
	27	確認テスト(リハビリテーション・画像診断料)	補助プリントを使用
後期 7	28	確認テスト(検査料・画像診断料)	補助プリントを使用
	29	入院料(食事料)	資料ブック及び補助プリントを使用して講義
	30	確認テスト(入院料)	補助プリントを使用

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 級別演習(医事コン3級)

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	カルテ例題集1～5(外来)投薬・注射・処置・画像診断	問題集を使用しての演習
	32	カルテ例題集1～5(外来)投薬・注射・処置・画像診断	問題集を使用しての演習
	33	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
	34	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
	35	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
	36	カルテ例題集11～16(外来)画像診断・手術・輸血まで	問題集を使用しての演習
後期 14	37	カルテ例題集11～16(外来)画像診断・手術・輸血まで	問題集を使用しての演習
	38	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	39	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
後期 15	40	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	41	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	42	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
後期 16	43	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	44	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	45	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
後期 17	46	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	47	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	48	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
後期 18	49	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	50	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	51	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
級別演習(医療秘書)	選択	51時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>医療秘書検定2級受験者へ向けて問題演習を行い、検定合格を目指す。 公費負担医療制度について理解を深める。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療秘書として、それぞれの領域について一般的な知識と技能をもち、やや複雑な業務を遂行することができる。</li> <li>・医療秘書検定2級、3級に合格する。</li> <li>・公費負担医療制度の概要理解や実務が出来る。</li> </ul>
--

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果②授業態度③出席時間数④提出物を3:3:2:2の比率で総合的に判断する。
--

## (6) 使用教材・教具

検定試験問題集、補助プリント
----------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 級別演習(医療秘書)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	1	病院の発達、病院の種類、規模、開設者	補助プリントを使用し問題演習、解説
	2	病院運営、院内各部門の業務	補助プリントを使用し問題演習、解説
	3	医療の質の保証、経営管理論	補助プリントを使用し問題演習、解説
前期 17	4	病院組織の種類と特徴、組織の原則	補助プリントを使用し問題演習、解説
	5	診療統計	補助プリントを使用し問題演習、解説
	6	医療発展の経緯、貢献した人物	補助プリントを使用し問題演習、解説
前期 18	7	クローズシステムとオープンシステム	補助プリントを使用し問題演習、解説
	8	施設数の推移、医療保険制度の特徴	補助プリントを使用し問題演習、解説
	9	DPCの現状	補助プリントを使用し問題演習、解説
後期 1	10	医療法、医師法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	11	医療法、医師法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	12	医療保険制度	補助プリントを使用し問題演習、解説
後期 2	13	健康保険制度	補助プリントを使用し問題演習、解説
	14	療養担当規則、医療従事者各法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	15	療養担当規則、医療従事者各法	補助プリントを使用し問題演習、解説
後期 3	16	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	17	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	18	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期 4	19	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	20	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	21	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期 5	22	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	23	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	24	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期 6	25	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	26	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	27	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期 7	28	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	29	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	30	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 級別演習(医療秘書)

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	32	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	33	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	34	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	35	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	36	模擬試験	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
後期 14	37	医学知識	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	38	医学知識	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	39	医学知識	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
後期 15	40	医学知識	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	41	医療関連法規	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	42	医療関連法規	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
後期 16	43	医療関連法規	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	44	医療関連法規	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	45	医療事務分野(レセプト)	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
後期 17	46	医療事務分野(レセプト)	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	47	医療事務分野(レセプト)	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
	48	医療事務分野(レセプト)	検定試験問題集を使用している問題演習、解説
後期 18	49	確認テスト	確認テストを使用している確認
	50	確認テスト	確認テストを使用している確認
	51	確認テスト	確認テストを使用している確認
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動Ⅱ	必修	30時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年／IT医療情報学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>2年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

--

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 課外研修活動Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
1	2	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	3	進級生オリエンテーション	進級時手続き、各種説明等
	4	避難訓練	避難経路、避難場所確認
	5	国内研修	コミュニケーション研修
前期	6	国内研修	コミュニケーション研修
12	7	国内研修	コミュニケーション研修
	8	国内研修	コミュニケーション研修
	9	国内研修	コミュニケーション研修
	10	国内研修	コミュニケーション研修
	11	国内研修	コミュニケーション研修
前期	12	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
12	13	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	14	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	15	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	16	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	17	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	18	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	19	夏フェス	グループ27校合同の学園祭





## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務(実践行動学含む)	必修	49時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年／IT医療情報学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
成田 千里、田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

本授業は、面接対策、一般常識、専門知識の復習、ビジネス電話、ビジネス文書の書き方、マナー、企業研究を通して、内定獲得をはじめ、社会人としてのスタートラインに立てるように、また、学生と社会人の違いを意識させる。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

一般常識、社会常識、マナー、専門知識の復習などを通して、内定獲得だけでなく、社会に出てからの行動学を習得する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①内定獲得、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

筆記用具、iPad  
パソコン(学校のPCルーム)

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 就職実務(実践行動学含む)

W	時間	授業内容	授業方法
前期1	1	就職の流れ、求人票の見方	補助プリントを使用・演習
	2	就職の流れ、求人票の見方	補助プリントを使用・演習
前期2	3	就職資料室の活用について	補助プリントを使用・演習
	4	ディスカッション	補助プリントを使用・演習
前期3	5	就職部講和	講義
	6	就職部講和	講義
前期4	7	面接練習	補助プリントを使用・演習
前期5	8	大手企業説明会	講義
前期6	9	大手企業説明会	講義
前期7	10	大手企業説明会	講義
前期8	11	ビジネス文書	検定問題を使用・演習
	12	ビジネス文書	検定問題を使用・演習
前期9	13	ビジネス電話	検定問題を使用・演習
	14	ビジネス電話	検定問題を使用・演習
前期10	15	面接練習	実践
	16	面接練習	実践
前期11	17	面接練習	実践
	18	面接練習	実践
前期12	19	面接練習	実践
	20	面接練習	実践
前期13	21	面接練習	実践
	22	面接練習	実践
	23	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
	24	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
前期14	25	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
	26	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
	27	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
	28	早期研修の心構え	補助プリントを使用・演習(グループワーク)
前期15	29	実践行動学	テキストを使用して演習
	30	実践行動学	テキストを使用して演習



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 卒業研究

W	時間	授業内容	授業方法
後期 17	61	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
	62	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
	63	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
後期 18	64	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
	65	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
	66	研究、進達状況の確認	毎週、担当教員よりアドバイスを受けながら研究を進める
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
電子カルテ	必修	45時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年／IT医療情報学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香、田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は、医療機関に普及しつつある電子カルテの仕組みと操作のルール(SOAP)について理解する。オーダー入力を中心に、早く正確なカルテを作成し、電子カルテ実技検定試験を目指す  
医師と患者の間答形式の問題を見ながら早く正確なカルテを作成する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

次年度の電子カルテ実技検定の合格と、電子カルテシステムを理解する。並行して、他部門との連携やデータの共有についての知識を深める。  
現実には医師・患者間の情報入力のため、入力定義に沿ってすばやく内容を判断できること。  
併せて、オーダー入力を早く正確に実施し誤りのないカルテを作成する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テストと検定結果、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

電子カルテシステムの理解と演習 電子カルテ操作テキスト 医科サポートブック  
パソコン(学校のPCルーム)、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 電子カルテ

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	1	授業の概要、検定説明		
	1	2	ソフトのインストールとオーダー入力復習	操作テキストを使って演習
		3	操作テキストを使用してオーダー入力の復習	操作テキストを使って演習
		4	テキスト 電子カルテの代行入力	テキストを使って講義
		5	テキスト 電子カルテシステム関連知識	テキストを使って講義
		6	テキスト 電子カルテの定義、機能等	テキストを使って講義
前期	7	症例演習 病院外来第1号、2号	テキストを使って症例入力演習	
	2	8	症例演習 病院外来第3号、4号	テキストを使って症例入力演習
		9	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		10	症例演習 病院外来第5号、6号	テキストを使って症例入力演習
		11	症例演習 病院外来第7号、8号	テキストを使って症例入力演習
		12	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
前期	13	症例演習 病院外来第9号、10号	テキストを使って症例入力演習	
	3	14	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		15	症例テスト	補助プリントを使ってテスト
		16	症例演習 病院外来 問答形式11号	テキストを使って症例入力演習
		17	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		18	症例テスト	補助プリントを使ってテスト
前期	19	症例演習 病院外来 問答形式12号	テキストを使って症例入力演習	
	4	20	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		21	症例テスト	補助プリントを使ってテスト
		22	症例演習 病院外来 問答形式13号	テキストを使って症例入力演習
		23	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		24	症例テスト	補助プリントを使ってテスト
前期	25	症例演習 病院外来 問答形式14号	テキストを使って症例入力演習	
	5	26	出力して解答・解説	補助プリントを使って講義、演習
		27	症例テスト	補助プリントを使ってテスト



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病理学	選択	27時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科1年 ビジネスライセンス学科(医療事務コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は医療秘書技能検定2級取得を目的とし、  
領域Ⅱ分野の知識を身につけるための授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・一般的な疾病について臓器、組織障害にかかわる原因、症状についての理解できる
- ・診療、検査と治療学を関連付けることができる
- ・医学英語、看護用語について理解できる
- ・医薬品に対する一般的な知識を理解できる

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度、授業内で行うテスト、検定結果を総合的に評価する

## (6) 使用教材・教具

プリント・筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 病理学

W	時間	授業内容	授業方法
前期 17	1	細胞の障害	プリントを使用しての講義
	2	炎症	プリントを使用しての講義
	3	循環障害の種類	プリントを使用しての講義
前期 18	4	循環障害の種類	プリントを使用しての講義
	5	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
	6	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
後期 1	7	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
	8	先天性異常疾患	プリントを使用しての講義
	9	先天性異常疾患	プリントを使用しての講義
後期 2	10	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	11	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	12	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
後期 4	13	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	14	栄養素と疾患	プリントを使用しての講義
	15	栄養素と疾患	プリントを使用しての講義
後期 5	16	検査の知識	プリントを使用しての講義
	17	検査の知識	プリントを使用しての講義
	18	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 6	19	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	20	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	21	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 7	22	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	23	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	24	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 8	25	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	26	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	27	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	28		
	29		
	30		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン実践Ⅱ	必修	45時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
高井 和美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
法人企画課および教育研修部において、顧客データの管理・研修会の企画運営などを経験	

## (3) 授業概要

Excel3級の検定合格を目標として、関数の使い方、グラフの作成、データベースの活用方法などをマスターする。
--

## (4) 到達目標

文書作成に加え、作業中のエラーや周辺機器の使用についても対応できるようになること。
---

## (5) 成績評価方法・基準

Excel文書処理技能認定試験 3級合否・授業への意欲・態度・関心度を4:3:3で評価する
---

## (6) 使用教材・教具

Microsoft Excel3級クイックマスター基本編、Excel文書処理技能認定試験3級問題集、パソコン、USB
--

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

科目名 パソコン実践Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
後期 3	1	クイックマスター chapter1,2,3	Excelの基本、データの編集、表の編集 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	2		
	3		
後期 4	4	クイックマスター chapter5,chapter7	グラフと図形の作成、関数 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	5		
	6		
後期 5	7	クイックマスター chapter8,chapter6,chapter4	ブックの利用と管理、データベース機能 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	8		
	9		
後期 6	10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題1～2【問題1】	表の作成、書式設定について プロジェクトを使用しての操作説明、演習
	11		
	12		
後期 7	13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題3～5【問題1】	表の作成、書式設定について復習 プロジェクトを使用しての操作説明、演習
	14		
	15		
後期 8	16	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題1～5【問題2】	関数について プロジェクトを使用しての操作説明、演習
	17		
	18		
後期 9	19	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題1～5【問題3】	データベース機能について プロジェクトを使用しての操作説明、演習
	20		
	21		
後期 10	22	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題1～5【問題4】【問題5】	グラフ機能、ページ設定について プロジェクトを使用しての操作説明、演習
	23		
	24		
後期 11	25	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題6、7	演習
	26		
	27		
後期 12	28	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 練習問題8、9	演習
	29		
	30		



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医学知識Ⅱ	選択	48時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年(医療通訳士コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>①医療機関で使用する基本的な用語学習の復習を行う。 (身体の一部・症状・病名・検査名・診療科・医療職種・文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋等))</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>医療機関の受付(総合案内・外来・会計・各診療科・病棟等)業務における外国人患者対応で必要となる基礎的な英会話力を身につける。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>補助プリント、筆記用具</p>
--------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医学知識Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	2	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	3	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	4	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	5	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	6	身体の部位	補助プリントを使用・演習
前期 2	7	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	8	身体の部位	補助プリントを使用・演習
	9	評価テスト	評価テスト
	10	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	11	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	12	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
前期 3	13	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	14	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	15	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	16	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	17	症状(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	18	評価テスト	評価テスト
前期 4	19	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	20	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	21	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	22	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	23	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	24	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
前期 5	25	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	26	病名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	27	評価テスト	評価テスト
	28	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	29	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	30	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医学知識Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
前期 6	31	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	32	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	33	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	34	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	35	検査名(主要なもの)	補助プリントを使用・演習
	36	評価テスト	評価テスト
前期 7	37	診療科 医療職種	補助プリントを使用・演習
	38	診療科 医療職種	補助プリントを使用・演習
	39	診療科 医療職種	補助プリントを使用・演習
	40	診療科 医療職種	補助プリントを使用・演習
	41	診療科 医療職種	補助プリントを使用・演習
	42	評価テスト	評価テスト
前期 8	43	文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋 等)	補助プリントを使用・演習
	44	文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋 等)	補助プリントを使用・演習
	45	文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋 等)	補助プリントを使用・演習
	46	文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋 等)	補助プリントを使用・演習
	47	評価テスト	評価テスト
	48	評価テスト	評価テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医事オペレータ	必修	30時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

本授業は、医療機関で働く医療事務従事者にとって必要である、医事コンピュータの仕組みと操作のルールについて理解する。  
カルテ内容から算定の原則に則り、正確にレセプト作成を行う。  
医事オペレータ技能認定問題集より検定対策同様の学習を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医事オペレータ技能認定試験の合格同様レベルの知識と技術を習得し、医事コンピュータシステムを理解する。  
早く正確なレセプト作成を目的として算定の原則の知識をより深める。  
カルテに記入されている内容から、算定の原則を導き出す。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

医科サポートブック、パソコン(学校のPCルーム)、USB、筆記用具  
医事オペレータ技能認定問題集(教員のみ)、「医事NaviⅢ」操作テキスト(教員のみ)、  
コンピュータ入力練習用カルテ例題集(教員のみ)

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--



【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医事オペレータ
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 13W	1	動機づけ、試験説明、基本操作及び患者登録について	操作については補助プリントを使用しての演習
	2	カルテ例題集1～5(外来)投薬・注射・処置・画像診断	問題集を使用しての演習
	3	カルテ例題集1～5(外来)投薬・注射・処置・画像診断	問題集を使用しての演習
	4	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
	5	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
	6	カルテ例題集6～10(外来)画像診断・手術まで	問題集を使用しての演習
前期 14W	7	カルテ例題集11～16(外来)画像診断・手術・輸血まで	問題集を使用しての演習
	8	カルテ例題集11～16(外来)画像診断・手術・輸血まで	問題集を使用しての演習
	9	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	10	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	11	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	12	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
前期 15W	13	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	14	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	15	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	16	カルテ例題集17～40(外来)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	17	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	18	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
前期 16W	19	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	20	カルテ例題集41～54(入院)全範囲の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	21	カルテ例題集55～57(外来)伝票問題の入力後、点検	問題集を使用しての演習
前期 17W	22	カルテ例題集55～57(外来)伝票問題の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	23	カルテ例題集58～60(入院)伝票問題の入力後、点検	問題集を使用しての演習
	24	カルテ例題集58～60(入院)伝票問題の入力後、点検	問題集を使用しての演習
前期 18W	25	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(1回目)
	26	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(1回目)
	27	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(1回目)
後期 1W	28	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(2回目)
	29	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(2回目)
	30	医事オペレータ技能認定問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト(2回目)

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医事コンピュータ実技	選択	24時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年 (医療秘書コース・医療事務総合コース・デュアルコース・医療通訳士コース)	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は、医療機関で働く医療事務従事者にとって必要である、医事コンピュータの仕組みと操作のルールについて理解する。  
カルテ内容から算定の原則に則り、正確にレセプト作成を行う。  
医事コンピュータ技能認定試験問題集より、試験に備えての学習を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医事コンピュータ技能認定試験の合格と、医事コンピュータシステムを理解する。早く正確なレセプト作成を目的として算定の原則の知識をより深める。  
カルテに記入されている内容から、算定の原則を導き出す。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

カルテ例題集 医事コンピュータ技能認定試験問題集 医科サポートブック 診療点数早見表  
パソコン(学校のPCルーム)、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医事コンピュータ実技
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
後期 3	1	動機づけ、試験説明、操作方法について復習する	操作については補助プリントを使用しての演習
	2	カルテ例題集より外来問題の入力 病院処置まで	問題集を使用しての演習
	3	カルテ例題集より外来問題の入力 検査までの範	問題集を使用しての演習
後期 4	4	カルテ例題集より外来問題の入力 検査までの範	問題集を使用しての演習
	5	カルテ例題集より外来問題の入力 往診 5才～7才	問題集を使用しての演習
	6	カルテ例題集より外来問題の入力 往診 5才～8才	問題集を使用しての演習
後期 5	7	カルテ例題集より外来問題の入力 麻酔までの範	問題集を使用しての演習
	8	カルテ例題集より外来問題の入力 麻酔までの範	問題集を使用しての演習
	9	カルテ例題集より外来問題の入力 手術までの範	問題集を使用しての演習
後期 6	10	カルテ例題集より外来問題の入力 手術までの範	問題集を使用しての演習
	11	カルテ例題集より外来問題の入力 画像診断まで	問題集を使用しての演習
	12	カルテ例題集より外来問題の入力 画像診断まで	問題集を使用しての演習
後期 7	13	カルテ例題集より外来問題の入力 伝票問題	問題集を使用しての演習
	14	カルテ例題集より外来問題の入力 伝票問題	問題集を使用しての演習
	15	カルテ例題集より外来問題の入力 伝票問題	問題集を使用しての演習
後期 8	16	カルテ例題集より外来問題の入力 伝票問題	問題集を使用しての演習
	17	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	18	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
後期 9	19	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	20	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	21	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
後期 10	22	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	23	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	24	医事コンピュータ技能認定試験問題集よりテスト	問題集を使用してのテスト
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医事コンピュータ知識	選択	20時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年 (医療秘書コース・医療事務総合コース・デュアルコース・医療通訳士コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は医事コンピュータ技能検定試験3級の取得を目的とし、領域Ⅰ、領域Ⅱ分野の知識を身につけるための授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・医療保険制度についての概要及び診療報酬制度のシステムについて知識がある
- ・診療報酬点数表を使用し、点数算定の知識がある
- ・コンピュータの内部処理や五大装置、ソフトウェアについて理解できる
- ・アプリケーションソフトの基本操作を理解できる

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度、授業内で行うテスト、検定結果を総合的に評価する

## (6) 使用教材・教具

教科書、補助プリント、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医事コンピュータ知識

W	時間	授業内容	授業方法
後期 3W	1	【PC知識】コンピュータの種類	補助プリントを使用し講義
	2	【PC知識】五大装置と機能	補助プリントを使用し講義
	3	【PC知識】五大装置と機能	補助プリントを使用し講義
後期 4W	4	チェックテスト	補助プリントを使用・演習
	5	【PC知識】周辺装置とインターフェース	補助プリントを使用し講義
	6	練習問題	補助プリントを使用・演習
後期 7W	7	練習問題	補助プリントを使用・演習
	8	【PC知識】インターフェース	補助プリントを使用し講義
	9	【PC知識】インターフェース	補助プリントを使用し講義
	10	【PC知識】進数	補助プリントを使用し講義
	11	【PC知識】進数	補助プリントを使用し講義
後期 8W	12	【PC知識】ソフトウェア	補助プリントを使用し講義
	13	【PC知識】ワープロソフトの活用	補助プリントを使用し講義
	14	【医事知識】練習問題	補助プリントを使用・演習
	15	【医事知識】練習問題	補助プリントを使用・演習
	16	【PC知識】練習問題	補助プリントを使用・演習
後期 9	17	【医事知識】練習問題	補助プリントを使用・演習
	18	【医事知識】練習問題	補助プリントを使用・演習
後期 10	19	テスト(解答・解説を含む)	補助プリントを使用・演習
	20	テスト(解答・解説を含む)	補助プリントを使用・演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療英会話(実技)	選択	30時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
アートリンガル外語学院 新潟校講師	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
英会話を始めとした言語のスクールの講師	

## (3) 授業概要

<p>①医療機関で使用する基本的な用語の学習を行う。 (身体の部位・症状・病名・検査名・診療科・医療職種・文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋等))</p> <p>②受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズの学習を行う。 (挨拶・声掛け・相槌・聞き返し・お詫び・共感・確認する(保険証、紹介状等、持ち物の確認等))</p> <p>③医療英会話を実践する。※ロールプレイング形式による会話実習を含む (場面ごとの英語による対応・初診案内(予約・紹介の確認、診療申込書、保険の確認等)・再診受付(診察券・保険・予約の確認等))</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>医療機関の受付(総合案内・外来・会計・各診療科・病棟等)業務における外国人患者対応で必要となる基礎的な英会話力を身につける。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>補助プリント、筆記用具</p>
--------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医療英会話(実技)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	2	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	3	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 2	4	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	5	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	6	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 3	7	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	8	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	9	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 4	10	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	11	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	12	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
前期 5	13	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	14	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	15	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
前期 6	16	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	17	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	18	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
前期 7	19	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	20	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	21	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
前期 8	22	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	23	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	24	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
前期 9	25	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	26	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	27	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
前期 10	28	医療英会話実践	評価テスト
	29	医療英会話実践	評価テスト
	30	医療英会話実践	評価テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療英会話技能認定対策	選択	33時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
アートリンガル外語学院 新潟校講師	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
英会話を始めとした言語のスクールの講師	

## (3) 授業概要

<p>①医療機関で使用する基本的な用語の学習を行う。 (身体の部位・症状・病名・検査名・診療科・医療職種・文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋等))</p> <p>②受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズの学習を行う。 (挨拶・声掛け・相槌・聞き返し・お詫び・共感・確認する(保険証、紹介状等、持ち物の確認等))</p> <p>③医療英会話を実践する。※ロールプレイング形式による会話実習を含む (場面ごとの英語による対応・初診案内(予約・紹介の確認、診療申込書、保険の確認等)・再診受付(診察券・保険・予約の確認等))</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>医療機関の受付(総合案内・外来・会計・各診療科・病棟等)業務における外国人患者対応で必要となる基礎的な英会話力を身につける。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>補助プリント、筆記用具</p>
--------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--



【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 医療英会話技能認定対策
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 8	1	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	2	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	3	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	4	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	5	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	6	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 9	7	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	8	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	9	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 10	10	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	11	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	12	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	13	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	14	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	15	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
前期 11	16	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	17	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	18	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	19	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	20	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	21	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
前期 12	22	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	23	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	24	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	25	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	26	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	27	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
前期 13	28	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	29	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	30	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	31	医療英会話実践	補助プリントを使用・演習
	32	医療英会話実践	評価テスト
	33	医療英会話実践	評価テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療英単語	選択	48時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>①医療機関で使用する基本的な用語学習の復習を行う。 (身体の一部・症状・病名・検査名・診療科・医療職種・文書名(診察券、保険証、紹介状、問診票、処方箋等))</p> <p>②受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズの学習の復習を行う。 (挨拶・声掛け・相槌・聞き返し・お詫び・共感・確認する(保険証、紹介状等、持ち物の確認等))</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>医療機関の受付(総合案内・外来・会計・各診療科・病棟等)業務における外国人患者対応で必要となる基礎的な英会話力を身につける。</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

## (6) 使用教材・教具

<p>補助プリント、筆記用具</p>
--------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療英単語

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	2	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	3	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	4	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	5	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	6	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 2	7	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	8	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	9	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	10	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	11	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	12	評価テスト	評価テスト
前期 3	13	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	14	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	15	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	16	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	17	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	18	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
前期 4	19	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	20	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	21	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	22	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	23	医療機関で使用する基本的な用語	補助プリントを使用・演習
	24	評価テスト	評価テスト
前期 5	25	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	26	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	27	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	28	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	29	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	30	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習

【別紙】

# 授業計画書

 科目名 医療英単語
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 6	31	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	32	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	33	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	34	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	35	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	36	評価テスト	評価テスト
前期 7	37	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	38	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	39	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	40	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	41	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	42	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
前期 8	43	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	44	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	45	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	46	受付業務等で使用する基本的な用語・表現・フレーズ	補助プリントを使用・演習
	47	評価テスト	評価テスト
	48	評価テスト	評価テスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療秘書・医療事務演習	選択	40時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>①医療事務管理士技能認定試験の解答をもとに、解説できる力を身につける</p> <p>②医療系学習イベント メディカルクイーン企画・運営(10月に向けて)</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>①医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解し、人に説明する力を身につける</p> <p>②医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を復習する</p> <p>③医療保険の知識と、医療保険制度の仕組みを理解し、人に説明する力を身につける</p> <p>④学習イベントの企画の成功</p>
---

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①グループワーク時の貢献度および授業態度 ②企画・研究姿勢を6:4の比率で総合的に評価する。
---

## (6) 使用教材・教具

パソコン、筆記用具、ソラスト テキスト1～5、医学通信社 診療点数早見表、電卓、筆記用具
--

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療秘書・医療事務演習

W	時間	授業内容	授業方法
前期8	1	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	2	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	3	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	4	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	5	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	6	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
前期9	7	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	8	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	9	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	10	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	11	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	12	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
前期10	13	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	14	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	15	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	16	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	17	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	18	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
前期11	19	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	20	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	21	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	22	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	23	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
	24	検定試験問題集 演習・解説	演習・グループワーク
前期16	25	学習イベントの企画と準備	グループでの演習
	26	学習イベントの企画と準備	グループでの演習
前期17	27	学習イベントの企画と準備	グループでの演習
	28	学習イベントの企画と準備	グループでの演習
前期18	29	概要の整理	グループでの演習
	30	概要の整理	グループでの演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 医療秘書・医療事務演習

W	時間	授業内容	授業方法
後期1	31	予選問題準備	グループでの演習
	32	予選問題準備	グループでの演習
後期3	33	決勝問題作成	グループでの演習
	34	決勝問題作成	グループでの演習
後期4	35	当日の進行台本作成	グループでの演習
	36	当日の進行台本作成	グループでの演習
後期5	37	PPスライドの作成	グループでの演習
	38	PPスライドの作成	グループでの演習
後期6	39	リハーサル	グループでの演習
	40	リハーサル	グループでの演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語Ⅱ(医療通訳士コース)	選択	66
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学2年(医療通訳士コース)	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式で進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語Ⅰの範囲内では720レッスンあるが、どのレッスンを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階として基礎英語Ⅰの内容を踏まえ、家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。次の段階では仕事、学校、レジャーでの話題や個人の関心事について、脈絡のある文を作りながらやりとりができることを目標とする。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具</p>
--

## (7) 授業にあたっての留意点

<p>スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。</p>
--

## (8) その他

<p></p>
---------



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 基礎英語Ⅱ(医療通訳士コース)

W	時間	授業内容	授業方法
	1	自分のこれまでの人生や性格、趣味などについて相手に紹介することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	議論の途中で、相手に疑問を投げかけることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	3	初対面の相手と会話し、連絡先を交換することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	(医者に)自分の症状を説明し、処置を求めることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	5	映画館で映画・座席を決めて、チケットを買うことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	レストランで店員とやりとりができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	7	電話を取り次いだり、具体的な要件を聞き取ることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	支払い方法など、会計にまつわるやりとりができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	9	写真撮影を頼んだり、撮影の仕方について注文したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	自分自身の意思や想いを、明確に相手に述べるができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	11	海外の文化と日本の文化の違いを具体例を挙げて説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	行程表を見ながら、旅行の計画について、詳しく説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	13	簡単な日本料理の作り方について説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	自分の経歴や、認識している自分の強みと弱みについて、周りに話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	15	友人と話し合っ、ゴールまでのロードマップを検討したり、示したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	自分が成長した点について、以前の自分と比較して話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	17	過去の動作や状態を述べるができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	18	去年の思い出についてたずねたり、話したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	19	人に近況などをたずねることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	20	昔の日本人や日本の文化について、簡単に説明することができる(過去形、過去進行形?)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	21	自分の行動とその目的を言い表すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	22	日本の観光名所や食べ物について、簡単に説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	23	休暇や週末の予定についてたずねたり、話したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	24	天気予報を聞き取ったり、明日の天気について話したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	25	(お店や学校で、)相手に許可を求めることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	26	5桁以上の数を数えることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	27	日本のしきたりについて、説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	28	お店で店員とやりとりをし、サイズや値段をたずねて買い物ができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	29	会話を始めて続けたり、終わらせたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	30	人に忠告・助言をすることができる(温泉の入りのマナー)	スタディサプリを用いてのeラーニング学習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 基礎英語Ⅱ(医療通訳士コース)

W	時間	授業内容	授業方法
	31	相手を誘って時間や場所の約束をしたり、相手に提案をしたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	32	人やものの外見や気持ちについて説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	33	人にあげたり人からもらったりしたものについてたずねたり、話したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	34	嬉しかった・悲しかった・怒ったことについてたずねたり、話したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	35	貸し借りをすることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	36	困っている人に助けを申し出ることができる助けを申し出たり、助けを求めたりすることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	37	身近な話題について、自分の考え方を伝えることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	38	賛成か反対かを、条件や理由を添えて述べるができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	39	電話で決まり文句を使って、取り次いだり、伝言を残したり、受け答えができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	40	カフェやレストランでやりとりをしたり、いろいろな条件をつけて注文することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	41	欲しいもの・したいこと・行きたい場所について、たずねたり伝えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	42	お店や映画館などに問い合わせをしたり、問い合わせに答えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	43	人やものの位置をたずねたり、人に伝えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	44	相手に確認したり、たずねたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	45	人や物に情報をつけ足して、説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	46	夢や計画などについて、たずねたり伝えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	47	何かをする目的をたずねたり、伝えたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	48	感謝の気持ちを伝えたり、褒めたり、励ましたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	49	住んでいる地域・生まれた場所について説明したり、尋ねたりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	50	自分の好み・趣味・特技について、具体的に話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	51	学校行事や地域の行事などについて、説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	52	楽しんだこと、楽しみにしていることについて話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	53	ある習慣や行動をやめることを表現できる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	54	イベント(パーティ)の案内や指示ができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	55	イベントの進行予定を時系列で説明できる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	56	簡単な提案をすることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	57	天気や、交通情報、ニュースの内容を伝えることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	58	道をたずねたり、道案内をして自分の知っている場所を案内したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	59	2つのものや人について、比べて説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	60	3つ以上のものや人について、比べて説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 基礎英語Ⅱ(医療通訳士コース)

W	時間	授業内容	授業方法
	61	相手に忠告したり、諭したりすることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	62	過去の出来事を時系列に説明し、それに対する自分の思いを伝えることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	63	誰かの行動に対して間接的に自分の感情を伝えることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	64	喜びを分かち合うことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	65	自分の将来の希望や過去の行動について、目的を明らかにして話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	66	自分の不安・恐れについて表現することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
基礎英語Ⅱ	必修	16
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供する「スタディサプリ」というアプリを活用して、eラーニング形式を進める。学生はスタディサプリをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、各自で学習を進めていく。問題は基礎英語Ⅰの範囲内では720レッスンあるが、どのレッスンを選択するかは自由。1レッスン10～15分程度で終わるよう設計されている。</p>
---

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>日常会話で用いられる、中学・高校で学んだ英語学習の定着、および基礎知識・技能と英語における知識量を増やすことを目的として実施する。第1段階として基礎英語Ⅰの内容を踏まえ、家族や仕事のことなど日常的に使われる表現を理解し、情報交換ができるようになることを目標とする。次の段階では仕事、学校、レジャーでの話題や個人の関心事について、脈絡のある文を作りながらやりとりができることを目標とする。</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>教職員は管理画面を確認することで進捗状況や学習状況の把握ができる。こうした積極性や主体性を成績評価の軸としながらも、成績評価テストにより学習の習熟度を評価する。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>スタディサプリ(アプリ)、スマートフォンまたはタブレット、ノート、筆記用具</p>
--

## (7) 授業にあたっての留意点

<p>スタディサプリは自主的な学習を進めるeラーニングアプリであるため、日々の学習計画を定めて、これに基づいて計画的に学習を進めること。</p>
--

## (8) その他

<p></p>
---------

【別紙】

# 授 業 計 画 書

科目名 基礎英語Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
前期1	1	自分のこれまでの人生や性格、趣味などについて相手に紹介することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	2	議論の途中で、相手に疑問を投げかけることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期2	3	初対面の相手と会話し、連絡先を交換することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	4	(医者に)自分の症状を説明し、処置を求めることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期3	5	映画館で映画・座席を決めて、チケットを買うことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	6	レストランで店員とやりとりができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期4	7	電話を取り次いだり、具体的な要件を聞き取ることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	8	支払い方法など、会計にまつわるやりとりができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期5	9	写真撮影を頼んだり、撮影の仕方について注文したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	10	自分自身の意思や想いを、明確に相手に述べることができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期6	11	海外の文化と日本の文化の違いを具体例を挙げて説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	12	行程表を見ながら、旅行の計画について、詳しく説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期7	13	簡単な日本料理の作り方について説明することができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	14	自分の経歴や、認識している自分の強みと弱みについて、周りに話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
前期8	15	友人と話し合っ、ゴールまでのロードマップを検討したり、示したりできる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	16	自分が成長した点について、以前の自分と比較して話すことができる	スタディサプリを用いてのeラーニング学習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
歯科公費	選択	12時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
木野井 由美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医科・歯科医療機関でのレセプト点検及び新潟市国民健康保険レセプト審査	

## (3) 授業概要

歯科に多い公費の知識を修得する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

公費を知識を修得し、受付対応やレセプト請求で応用できるようにする。

## (5) 成績評価方法・基準

出席状況及び宿題提出状況を考慮して評価する。

## (6) 使用教材・教具

医療事務講座(歯科)テキスト2診療報酬の算定 補助プリント

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他





## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
歯科事務	選択	150時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
木野井 由美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医科・歯科医療機関でのレセプト点検及び新潟市国民健康保険レセプト審査	

## (3) 授業概要

歯についての基礎的な知識と一般的な点数算定の原則を説明後、傷病による治療の流れとそれに伴う点数算定を解説する。医科と異なり、歯科のコンピューターによる電子請求は治療の流れが理解できないと点数入力ができないので、傷病名と治療の流れを補助プリントで徹底的に練習させる。コンピューターによる電子請求の特徴と入力時の留意点を理解させる。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医療事務管理士(歯科)検定試験に合格する。  
医療現場で大切なレセプト(診療報酬明細書)の点検ができる。

## (5) 成績評価方法・基準

医療事務検定試験の合否及び宿題提出状況を考慮して評価する。

## (6) 使用教材・教具

医療事務講座(歯科)テキスト2診療報酬の算定 サポートブック 補助プリント トレーニングブック

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 歯科事務

W	時間	授業内容	授業方法	
前期 1	1~3	歯の知識(歯・口腔の構造)	補助プリントを使用して講義・演習	
		歯の知識(歯・口腔の構造)	補助プリントを使用して講義・演習	
	4~6	初診料・再診料の点数算定	テキストを使用して講義	
		初診料・再診料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
前期 2	7~9	医学管理料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
		投薬料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	10~12	検査料の点数算定	テキストを使用して講義	
		画像診断料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	13~15	確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト	
		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
前期 3	16~18	処置及び手術料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
		処置及び手術料の点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	19~21	確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト	
		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
	22~24	歯冠修復の概要	テキスト及びサポートブックを使用して講義	
		歯冠修復の種類と点数算定	テキスト及びサポートブックを使用して講義	
前期 4	25~27	歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
		歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	28~30	確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト	
		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
	31~33	歯冠修復の種類と点数算定	テキスト及びサポートブックを使用して講義	
		歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	34~36	歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
		歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して講義・演習	
	37~39	歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して演習	
		歯冠修復の種類と点数算定	補助プリントを使用して演習	
	40~42	確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト	
		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
	前期 5	43~45	歯冠修復の種類と点数算定の復習	テキストを使用して講義
			歯冠修復の種類と点数算定の復習	テキストを使用して講義

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 歯科事務

W	時間	授業内容	授業方法	
前期 5	46~47	傷病による治療と点数算定(う蝕症)	補助プリントを使用して講義・演習	
		傷病による治療と点数算定(う蝕症)	テキストを使用して講義	
	48~50	傷病による治療と点数算定(う蝕症)	練習問題集を使用して演習	
		傷病による治療と点数算定(う蝕症)	練習問題集を使用して演習	
	51~53	傷病による治療と点数算定(歯髄炎)	練習問題集を使用して演習	
		傷病による治療と点数算定(歯髄炎)	補助プリントを使用して演習	
	54~59	傷病による治療と点数算定(歯髄炎)	補助プリントを使用して講義・演習	
		傷病による治療と点数算定(歯髄炎)	テキストを使用して講義	
	60~62	傷病による治療と点数算定(根尖性歯周炎)	練習問題集を使用して演習	
		傷病による治療と点数算定(根尖性歯周炎)	練習問題集を使用して演習	
	前期 6	63~65	う蝕症・歯髄炎・根尖性歯周炎の復習	補助プリントを使用して講義・演習
			確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
66~68		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
		う蝕症・歯髄炎・根尖性歯周炎の復習	テキストを使用して講義	
69~71		傷病による治療と点数算定(歯周炎)	テキスト及び補助プリントを使用して講義	
		傷病による治療と点数算定(歯周炎)	補助プリントを使用して講義・演習	
72~74		傷病による治療と点数算定(歯周炎)	練習問題集を使用して演習	
		傷病による治療と点数算定(主な手術)	テキスト及び補助プリントを使用して講義	
75~77		傷病による治療と点数算定(主な手術)	練習問題集を使用して演習	
		確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
78~80		欠損補綴の点数算定(ブリッジ)	テキスト及び補助プリントを使用して講義	
		欠損補綴の点数算定(ブリッジ)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習	
前期 7	81~83	欠損補綴の点数算定(歯冠修復物の再装着)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習	
		確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト	
	84~86	確認テスト	補助プリントを使用してレセプト作成	
		欠損補綴の点数算定(ブリッジ)復習	練習問題集を使用して演習	
	87~89	欠損補綴の点数算定(有床義歯)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習	
		欠損補綴の点数算定(有床義歯)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習	
90~92	欠損補綴の点数算定(有床義歯修理)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習		
	欠損補綴の点数算定(有床義歯修理)	テキスト及び補助プリントを使用して講義・演習		

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 歯科事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 7	93~96	欠損補綴の点数算定(有床義歯修理)	練習問題集を使用して演習
		欠損補綴の点数算定(有床義歯修理)	練習問題集を使用して演習
	97~99	レセプト点検の仕方	練習問題集を使用して演習
		レセプト点検の仕方	練習問題集を使用して演習
前期 8	100 ~102	在宅医療の点数算定	補助プリント及び点数早見表を使用して講義
		確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
	103 ~105	未来院請求	補助プリントを使用して講義・演習
		未来院請求	補助プリントを使用して講義・演習
前期 9	106 ~108	医療保障制度(医療保険制度)	テキストを使用して講義
		医療保障制度(医療保険の種類)	テキストを使用して講義
	109~ 111	確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
		確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
前期 10	112 ~114	保険給付(給付割合と患者負担)	テキストを使用して講義
		確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
	115 ~117	医療保障制度(公費)	テキストを使用して講義
		確認テスト	補助プリントを使用して学科テスト
前期 11	118 ~120	検定試験対策模擬テスト1	検定試験対策問題集を使用
	121 ~123	検定試験対策模擬テスト2	検定試験対策問題集を使用
前期 12	124 ~126	検定試験対策模擬テスト3	検定試験対策問題集を使用
	127 ~129	検定試験対策模擬テスト4	検定試験対策問題集を使用
前期 13	130 ~132	検定試験対策模擬テスト5	検定試験対策問題集を使用
	133 ~135	検定試験対策模擬テスト6	検定試験対策問題集を使用
	136 ~138	検定試験対策模擬テスト7	検定試験対策問題集を使用
	139 ~141	検定試験対策模擬テスト8	検定試験対策問題集を使用
前期 14	142 ~144	検定試験対策模擬テスト9	検定試験対策問題集を使用
	145 ~147	検定試験対策模擬テスト10	検定試験対策問題集を使用
	148 ~150	検定試験対策模擬テスト11	検定試験対策問題集を使用

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
歯科助手実習	選択	24時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
渡邊 賢一、佐久間 香	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
歯科医師、歯科衛生士(歯科衛生士業務)	

## (3) 授業概要

円滑な歯科診療を行うために、共同動作がいかに大切で効率的に行われているかを理解し、診療介助の実際の方法を学ぶ。相互実習をメインに技術の習得を行う。技術や患者様対応の裏付けとなる知識の習得を目指し、「なぜ」「どうして」を理解できるまで繰り返し指導を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

実践で戦力になる技術、心構え、知識の習得。病院実習前後で基礎・応用と同じ内容についても繰り返し行い、理解する。

## (5) 成績評価方法・基準

①出席状況②評価テスト③授業態度・提出物を3:4:3の比率にて評価する。

## (6) 使用教材・教具

テキスト・補助プリント・筆記用具・実習着

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 歯科助手実習

W	時間	授業内容	授業方法
前期4	1	導入・歯科アシスタントとしての心得、対応	テキストを使用しての講義
	2	歯科基礎知識(基礎・臨床)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	3	歯科基礎知識(基礎・臨床)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
前期5	4	歯科X線・バキュームテクニック・患者誘導	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	5	歯科X線・バキュームテクニック・患者誘導	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	6	局所麻酔・歯科器材の取扱い・一般診療器械器具	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
前期6	7	局所麻酔・歯科器材の取扱い・一般診療器械器具	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	8	一般診療器械器具、一般診療器械器具テスト	補助プリントを使用
	9	歯科材料の取扱い、印象採得、石膏注入	歯科材料を使用しての実習
	10	印象採得、石膏注入	歯科材料を使用しての実習
	11	各種セメント・仮封材練和	歯科材料を使用しての実習
	12	器械器具の受け渡し、診療補助及び介助(保存治療)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	13	診療補助及び介助(補綴治療)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	14	診療補助及び介助(口腔外科)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
前期7	15	診療補助及び介助(矯正・小児歯科・予防)	テキスト、補助プリントを使用しての講義、実習
	16	術式(CR充填・普通抜歯・難抜歯)・介助	器械器具を使用
	17	術式(In KP～In Set)・介助	器械器具を使用
前期8	18	術式(In KP～In Set)・介助	器械器具を使用
	19	術式(麻酔抜髄～根管充填～FMC Set)・介助	器械器具を使用
	20	術式(麻酔抜髄～根管充填～FMC Set)・介助	器械器具を使用
前期9	21	術式(麻酔抜髄～根管充填～FMC Set)・介助	器械器具を使用
	22	術式(FOP・歯肉切除術)・介助	器械器具を使用
	23	術式テスト	器械器具を使用
		術式テスト	器械器具を使用

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
実務演習Ⅱ	必修	60時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

卒業後の就職先での実務に備え、これまで履修した内容の確認と復習を行う。
-------------------------------------

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

授業で学んだ知識を机上のものだけとせず、実際の現場で発揮する能力を持つ。
--------------------------------------

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業態度②出席時間数③提出物を4:3:3の比率で総合的に判断する。
---

## (6) 使用教材・教具

医療保険事務、医療事務検定問題、医療秘書検定問題、診療報酬請求事務試験問題
---------------------------------------

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 実務演習Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
後期 3	1	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	2	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	3	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 4	4	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	5	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	6	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 5	7	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	8	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	9	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 6	10	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	11	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	12	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 7	13	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	14	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	15	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 8	16	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	17	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	18	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 9	19	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	20	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	21	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 10	22	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	23	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	24	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 11	25	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	26	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	27	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 12	28	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	29	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	30	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 実務演習Ⅱ

W	時間	授業内容	授業方法
後期 14	31	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	32	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	33	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	34	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	35	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	36	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 15	37	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	38	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	39	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	40	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	41	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	42	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
後期 16	43	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	44	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	45	医療秘書分野、診療報酬の復習	検定試験問題集を使用し演習
	46	医療事務の1日、1月の業務スケジュール確認	講義、グループワーク
	47	医療保険の確認	医療保険事務テキスト
	48	医療制度の確認	医療保険事務テキスト
後期 17	49	労災請求	講義、問題演習
	50	労災請求	講義、問題演習
	51	労災請求	講義、問題演習
	52	労災請求	講義、問題演習
	53	労災請求	講義、問題演習
	54	労災請求	講義、問題演習
後期 18	55	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習
	56	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習
	57	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習
	58	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習
	59	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習
	60	レセプト点検	検定試験問題集を使用し演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
選択科目(医師事務)	選択	78時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は、技能認定振興協会主催、医師事務作業補助者(ドクターズオフィスワークアシスト)検定試験取得に向け、医師事務として必要な基礎知識と文書作成について学ぶ。①診療録、診断書、処方箋などの文書作成、②院内で行われるカンファレンスの準備などの組織運営に関する事務、③保健所等の公的機関への報告書類の作成など学科問題と実技問題(文書作成)を通して身に付ける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医師が診療に注力でき、より良い医療サービスを提供できることを目的に、医療に関する法規や病院運営に関する知識、書類作成能力の学習を通し、医師事務作業補助者に求められる知識と能力を証明する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テストと試験結果、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

医師事務作業補助者養成講座テキスト1(基礎知識編)、医師事務作業補助者養成講座テキスト2(文書作成編)、医師事務作業補助者養成講座レポート集、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

医療秘書検定領域Ⅰ・Ⅱ、調剤報酬で使用するノート、プリント、テキストもあると良い

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 選択科目(医師事務)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期10	1	科目概要と試験説明	参考資料を用いて説明
	2	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	3	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	4	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	5	処方箋の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	6	処方箋の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
前期11	7	入院診療計画書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	8	一般診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	9	生命保険会社保険金請求のための診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	10	傷害保険診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	11	死亡診断書・死体検案書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	12	出生証明書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
前期12	13	おむつ使用証明書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	14	傷病手当金支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	15	出産手当金支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	16	診療情報提供書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	17	医療要否意見書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	18	自賠責保険診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
前期13	19	休業補償給付支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	20	主治医意見書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	21	退院時要約について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
前期14	22	健康診断書について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	23	出産育児一時金支給申請書について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	24	臨床調査個人票について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
前期15	25	医事事務作業補助者とは	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	26	医事事務作業補助者とは	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	27	医療関連法規	レポート集を使用しての演習
	28	医療関連法規	レポート集を使用しての演習
	29	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	30	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 選択科目(医師事務)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期15	31	医療保険制度	レポート集を使用しての演習
	32	医療保険制度	レポート集を使用しての演習
	33	医学の基本知識・薬の基本知識	レポート集を使用しての演習
	34	医学の基本知識・薬の基本知識	レポート集を使用しての演習
	35	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	36	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
前期16	37	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	38	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	39	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	40	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	41	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	42	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
前期17	43	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	44	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	45	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	46	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	47	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
	48	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
前期18	49	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
	50	医師事務作業補助者検定試験No.1	解答と解説
	51	医師事務作業補助者検定試験No.1	解答と解説
	52	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	53	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	54	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	55	医師事務作業補助者検定試験No.2	解答と解説
	56	医師事務作業補助者検定試験No.2	解答と解説
	57	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト
後期1	58	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト
	59	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト
	60	医師事務作業補助者検定試験No.3	解答と解説

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 選択科目(医師事務)

W	時間	授業内容	授業方法
後期1	61	医師事務作業補助者検定試験No.3	解答と解説
	62	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	63	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
後期2	64	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	65	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	66	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	67	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	68	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	69	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	70	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	71	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	72	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	73	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	74	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	75	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	76	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	77	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	78	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
選択科目(介護報酬)	選択	78時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科 2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

介護保険制度の仕組みを理解し、制度制定の背景や医療保険との関連、社会構造の変化に伴う医療福祉分野の今後のニーズを考察する。加えて具体的な介護報酬の算定方法も学ぶ。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・介護報酬の算定を理解し、施設サービス、介護サービスともにレセプト作成が出来るようになる。
- ・介護保険制度利用により提要されるサービスを理解する。
- ・「介護事務管理士技能認定試験」合格。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①認定試験の合否 ②授業内で行うチェックテスト結果 ③授業内での模擬試験結果 ④授業への取り組み姿勢 を3:2:3:2の比率で総合的に評価する。

## (6) 使用教材・教具

介護事務講座テキスト 補助プリント、検定試験問題集、電卓、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 選択科目(介護報酬)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期10	1	導入、心構え・介護保険の特徴と目的	テキスト内容の解説
	2	制度の仕組みとサービス提供の流れ	テキスト内容の解説
	3	利用者との契約	テキスト内容の解説、補助プリントを使用してのまとめ
	4	サービスの種類と内容	テキスト内容の解説、補助プリントを使用してのまとめ
	5	訪問介護	テキスト内容の解説、補助プリントを使用してのまとめ
	6	訪問入浴、訪問入浴介護、練習問題	テキスト内容の解説、テキスト内の練習問題解説
前期11	7	訪問看護	テキスト内容の解説
	8	練習問題	テキスト内の練習問題解説
	9	訪問リハビリ、練習問題	テキスト内容の解説、テキスト内の練習問題解説
	10	プリント(訪問介護～訪問リハビリ)	練習問題実施
	11	居宅療養管理指導	テキスト内容の解説
	12	通所サービス、通所介護	テキスト内容の解説
前期12	13	通所リハビリテーション、練習問題	テキスト内容の解説、テキスト内の練習問題解説
	14	プリント(居宅療養管理～通所リハビリ)	練習問題実施
	15	練習問題	練習問題実施
	16	練習問題	練習問題実施
	17	短期入所生活介護	テキスト内容の解説
	18	短期入所療養介護	テキスト内容の解説
前期13	19	特定施設入所者生活介護	テキスト内容の解説
	20	練習問題	テキスト内練習問題の解説
	21	福祉用具貸与	テキスト内容の解説
前期14	22	練習問題	テキスト内練習問題の解説
	23	支援サービス	テキスト内容の解説
	24	まとめ、練習問題	補助プリント
前期15	25	まとめ、練習問題	補助プリント
	26	市町村特別給付、サービス提供機関	テキスト内容の解説
	27	まとめ、練習問題	補助プリント
	28	予防ケアプラン、請求と支払い	テキスト内容の解説
	29	練習問題	テキスト内練習問題の解説
	30	利用者負担について	テキスト内容の解説

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 選択科目(介護報酬)

W	時間	授業内容	授業方法
前期15	31	消費税の取り扱い、他制度との関係	テキスト内容の解説
	32	介護福祉施設サービス	テキスト内容の解説
	33	介護保健施設サービス	テキスト内容の解説
	34	介護療養施設サービス	テキスト内容の解説
	35	介護医療院サービス	テキスト内容の解説
	36	練習問題	テキスト内練習問題
	37	地域密着型サービス	テキスト内容の解説
	38	レセプトの書き方	テキストを使用してのレセプト算定演習
	39	レセプトの書き方	テキストを使用してのレセプト算定練習
前期16	40	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	41	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	42	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	43	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	44	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	45	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
前期17	46	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	47	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	48	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
前期18	49	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	50	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	51	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	52	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	53	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	54	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	55	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	56	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	57	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
後期1	58	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	59	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト
	60	模擬試験	検定試験問題集を使用してのテスト





## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
選択科目(診療報酬)	選択	78時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
木野井 由美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医科・歯科医療機関でのレセプト点検及び新潟市国民健康保険レセプト審査	

## (3) 授業概要

1年生で診療報酬請求事務の基礎は学習しているので、2年目は医療現場で必要な知識を解説し、傷病名と診療内容、薬剤等を関連づけて点数算定ができるようにする。  
 検定試験の学科対策として、医療保険制度(医療給付の内容、保険外併用療養費等)及び療養担当規則を説明する。また、学科は20問出題されるので、早見表の調べ方を習得させる。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

診療報酬請求事務能力認定試験に合格すること。  
 診療報酬点数表を十分に使いこなし、確実に迅速な検索により、正確なレセプト作成ができるようにする。

## (5) 成績評価方法・基準

各単元の確認テスト・評価テスト及び出席率を考慮して評価する。

## (6) 使用教材・教具

診療点数早見表 診療報酬請求事務能力認定試験用「受験対策と予想問題集」  
 補助プリント サポートブック

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 選択科目(診療報酬)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 8	1	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (入院料)	診療点数早見表及び医療事務マスターブックを使用して講義・演習
	2		
	3		
	4		
	5	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (療養担当規則)	
	6		
	7		
	8	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (医療法)	
	9		
前期 9	10	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (手術前医学管理料)	診療点数早見表及び医療事務マスターブックを使用して講義・演習
	11		
	12		
	13	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (健康保険法)	
	14		
	15		
	16	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (手術後医学管理料)	
	17		
	18		
	19	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (医療関係者の法律) (高齢者医療確保法)	
	20		
	21		
22	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (入院料・食料)		
23			
24			
前期 10	25	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (公費負担) (医療保険)	診療点数早見表及び医療事務マスターブックを使用して講義・演習
	26		
	27		
	28	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (外来レセプト作成)	
	29		
	30		

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 選択科目(診療報酬)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 10	31	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (麻酔料・画像診断料)	サポートブック及び補助プリントを使用して講義・演習
	32		
	33		
	34	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (リハビリテーション料)	診療点数早見表を使用して講義・演習
	35		
	36		
	37	診療報酬請求事務能力検定試験対策学科 (精神科療法)	診療点数早見表を使用して講義・演習
	38		
39			
前期 11	40	診療報酬請求事務能力検定試験対策実技 (入院レセプト作成)	診療点数早見表・サポートブック及び補助プリントを使用して講義・演習
	41		
	42		
	43	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用
	44	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)	
	45		
	46	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用
	47	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)	
	48		
	49	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用
	50	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)	
	51		
	52	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用
	53	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)	
	54		
55	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用	
56	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)		
57			
前期 12	58	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(学科)	診療報酬請求事務能力認定試験対策問題集を使用
	59	診療報酬事務能力認定試験模擬テスト(実技)	
	60		



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
第2選択科目(医師事務)	選択	78時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

本授業は、技能認定振興協会主催、医師事務作業補助者(ドクターズオフィスワークアシスト)検定試験取得に向け、医師事務として必要な基礎知識と文書作成について学ぶ。①診療録、診断書、処方箋などの文書作成、②院内で行われるカンファレンスの準備などの組織運営に関する事務、③保健所等の公的機関への報告書類の作成など学科問題と実技問題(文書作成)を通して身に付ける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

医師が診療に注力でき、より良い医療サービスを提供できることを目的に、医療に関する法規や病院運営に関する知識、書類作成能力の学習を通し、医師事務作業補助者に求められる知識と能力を証明する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テストと試験結果、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

医師事務作業補助者養成講座テキスト1(基礎知識編)、医師事務作業補助者養成講座テキスト2(文書作成編)、医師事務作業補助者養成講座レポート集、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

医療秘書検定領域Ⅰ・Ⅱ、調剤報酬で使用するノート、プリント、テキストもあると良い

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 第2選択科目(医師事務)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
後期3	1	科目概要と試験説明	参考資料を用いて説明
	2	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	3	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	4	診療録の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	5	処方箋の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	6	処方箋の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	7	入院診療計画書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	8	一般診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	9	生命保険会社保険金請求のための診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
後期4	10	傷害保険診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	11	死亡診断書・死体検案書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	12	出生証明書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	13	おむつ使用証明書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	14	傷病手当金支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	15	出産手当金支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
後期5	16	診療情報提供書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	17	医療要否意見書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	18	自賠責保険診断書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	19	休業補償給付支給申請書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	20	主治医意見書の記載について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	21	退院時要約について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	22	健康診断書について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	23	出産育児一時金支給申請書について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
	24	臨床調査個人票について	テキスト2と実技レポート集を通しての演習
後期6	25	医事事務作業補助者とは	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	26	医事事務作業補助者とは	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	27	医療関連法規	レポート集を使用しての演習
	28	医療関連法規	レポート集を使用しての演習
	29	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	30	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 第2選択科目(医師事務)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
後期6	31	医療保険制度	レポート集を使用しての演習
	32	医療保険制度	レポート集を使用しての演習
	33	医学の基本知識・薬の基本知識	レポート集を使用しての演習
後期7	34	医学の基本知識・薬の基本知識	レポート集を使用しての演習
	35	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	36	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	37	個人情報保護	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	38	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	39	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	40	電子カルテシステム	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	41	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
後期8	42	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	43	医療機関の安全管理	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	44	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	45	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	46	院内感染防止	テキスト1と学科レポート集を通しての演習
	47	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
	48	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
	49	医師事務作業補助者検定試験No.1	検定試験問題集を使用してのテスト
後期9	50	医師事務作業補助者検定試験No.1	解答と解説
	51	医師事務作業補助者検定試験No.1	解答と解説
	52	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	53	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	54	医師事務作業補助者検定試験No.2	検定試験問題集を使用してのテスト
	55	医師事務作業補助者検定試験No.2	解答と解説
	56	医師事務作業補助者検定試験No.2	解答と解説
	57	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト
	58	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト
59	医師事務作業補助者検定試験No.3	検定試験問題集を使用してのテスト	
60	医師事務作業補助者検定試験No.3	解答と解説	



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 第2選択科目(医師事務)

W	時間	授業内容	授業方法
後期10	61	医師事務作業補助者検定試験No.3	解答と解説
	62	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	63	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	64	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	65	医師事務作業補助者検定試験No.4	検定試験問題集を使用してのテスト
	66	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	67	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	68	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	69	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
後期11	70	医師事務作業補助者検定試験No.5	検定試験問題集を使用してのテスト
	71	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	72	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	73	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	74	医師事務作業補助者検定試験No.6	検定試験問題集を使用してのテスト
	75	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	76	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	77	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト
	78	医師事務作業補助者検定試験No.7	検定試験問題集を使用してのテスト

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
第2選択科目(調剤事務)	選択	78時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

保険調剤薬局の役割や調剤薬局事務員としての業務内容を学ぶとともに、調剤報酬の算定のルールを理解し、レセプト作成を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・医療保険制度を理解し、調剤薬局事務員として必要な知識を身に付ける。
- ・調剤報酬のレセプト作成ができるようになる。
- ・「調剤事務管理士技能認定試験」合格。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①技能認定試験の合否 ②授業内で実施の模擬試験結果 ③授業への取り組み姿勢 を4:3:3の比率で総合的に評価する。

## (6) 使用教材・教具

調剤薬局事務講座テキスト、補助プリント、検定試験問題集、電卓、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 第2選択科目(調剤事務)

W	時間	授業内容	授業方法
後期3	1	検定説明、医療保険制度、調剤薬局事務の仕事	テキスト内容の解説
	2	窓口請求額の計算の復習	補助プリントを使用しての演習
	3	窓口請求額の計算の復習 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	4	薬局の知識	テキスト内容の解説
	5	処方せんの基礎知識 練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	6	算定に必要な用語	テキスト内容の解説
	7	算定に必要な用語	テキスト内容の解説
	8	調剤基本料	テキスト内容の解説
	9	調剤基本料	テキスト内容の解説
後期4	10	薬剤料 特定医療保険材料料	テキスト内容の解説
	11	調剤料	テキスト内容の解説
	12	調剤料	テキスト内容の解説
	13	調剤料の加算 麻薬加算	テキスト内容の解説
	14	調剤料の加算 嚙下障害加算	テキスト内容の解説
	15	調剤料の加算 一包化加算時間外等の加算	テキスト内容の解説
後期5	16	調剤料 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	17	調剤料 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	18	薬学管理料	テキスト内容の解説
	19	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	20	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	21	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	22	レセプト作成	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	23	レセプト作成	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
後期6	24	練習問題	補助プリントを使用しての演習
	25	薬の知識 練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	26	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	27	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	28	公費、労災、介護保険、練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	29	レセプト作成	補助プリントを使用しての演習
	30	レセプト作成	補助プリントを使用しての演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 第2選択科目(調剤事務)

W	時間	授業内容	授業方法
後期6	31	学科練習問題	補助プリントを使用しての演習
	32	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	33	学科練習問題	補助プリントを使用しての演習
後期7	34	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	35	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	36	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	37	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	38	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	39	点検練習問題	補助プリントを使用しての演習
	40	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
後期8	41	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	42	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	43	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	44	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	45	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	46	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	47	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	48	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	49	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	50	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
後期9	51	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	52	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	53	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	54	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	55	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	56	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	57	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	58	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	59	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	60	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 第2選択科目(調剤事務)

W	時間	授業内容	授業方法
後期10	61	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	62	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	63	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	64	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	65	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	66	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	67	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	68	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	69	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
後期11	70	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	71	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	72	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	73	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	74	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	75	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	76	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	77	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	78	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
調剤コンピュータ	選択	24時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業のみ実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

調剤薬局へ就職した際に必要となる調剤報酬の算定を理解し、コンピュータ上での操作を同時に学ぶ。また、タイピング操作の速度向上を意識しながら実習を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

処方箋を見ながら、調剤報酬の算定入力をし、正確なレセプトが出力できる。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、評価テスト40%、課題実施状況30%、授業態度20%、出席率10%の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

NIメディカルオフィス 調剤報酬請求事務 問題集、ソラスト サポートブック、パソコン(学校のPCルーム)、調剤OXYⅢ(PCソフト)筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
調剤事務	選択	84時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

保険調剤薬局の役割や調剤薬局事務員としての業務内容を学ぶとともに、調剤報酬の算定のルールを理解し、レセプト作成を行う。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・医療保険制度を理解し、調剤薬局事務員として必要な知識を身に付ける。
- ・調剤報酬のレセプト作成ができるようになる。
- ・「調剤事務管理士技能認定試験」合格。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①技能認定試験の可否 ②授業内で実施の模擬試験結果 ③授業への取り組み姿勢 を4:3:3の比率で総合的に評価する。

## (6) 使用教材・教具

調剤薬局事務講座テキスト、補助プリント、検定試験問題集、電卓、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 調剤事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 12	1	検定説明、医療保険制度、調剤薬局事務の仕事	テキスト内容の解説
	2	窓口請求額の計算の復習	補助プリントを使用しての演習
	3	窓口請求額の計算の復習 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	4	薬局の知識	テキスト内容の解説
	5	処方せんの基礎知識 練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	6	算定に必要な用語	テキスト内容の解説
前期 13	7	算定に必要な用語	テキスト内容の解説
	8	調剤基本料	テキスト内容の解説
	9	調剤基本料	テキスト内容の解説
	10	薬剤料 特定医療保険材料料	テキスト内容の解説
	11	調剤料	テキスト内容の解説
	12	調剤料	テキスト内容の解説
前期 14	13	調剤料の加算 麻薬加算	テキスト内容の解説
	14	調剤料の加算 嚙下障害加算	テキスト内容の解説
	15	調剤料の加算 一包化加算時間外等の加算	テキスト内容の解説
	16	調剤料 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	17	調剤料 練習問題	補助プリントを使用しての演習
	18	薬学管理料	テキスト内容の解説
前期 15	19	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	20	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	21	会計表	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	22	レセプト作成	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	23	レセプト作成	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	24	練習問題	補助プリントを使用しての演習
前期 16	25	薬の知識 練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	26	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	27	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	28	公費、労災、介護保険、練習問題	テキスト内容の解説、補助プリントを使用・演習
	29	レセプト作成	補助プリントを使用しての演習
	30	レセプト作成	補助プリントを使用しての演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 調剤事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	31	学科練習問題	補助プリントを使用しての演習
	32	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	33	学科練習問題	補助プリントを使用しての演習
前期 17	34	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	35	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	36	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	37	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	38	レセプト練習問題	補助プリントを使用しての演習
	39	点検練習問題	補助プリントを使用しての演習
	40	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	41	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	42	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	43	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	44	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
前期 18	45	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	46	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	47	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	48	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	49	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	50	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	51	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	52	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	53	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
後期 1	54	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	55	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	56	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
後期 1	57	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	58	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	59	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習
	60	模擬試験	検定試験問題集を使用しての演習



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病医院接遇	必修	54時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

座学ではなくロールプレイングを通して、「医療機関を使用するお客さま(患者、ご家族、業者など)」と「医療機関で働くスタッフ」とのコミュニケーションを円滑にとれるようにする。状況や場面に応じて適切な対応が出来るよう、受付の原則や望ましい在り方を理解する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・患者のニーズを引き出すためのコミュニケーションスキルをもつ
- ・医療従事者としての守秘義務を厳守できる
- ・身だしなみや言葉遣い、表情、声のトーンを使い分け、第一印象の良い対応できる
- ・場面や相手に応じた、相手を不快にさせない適切な言葉遣いができる
- ・正確かつ円滑に電話対応ができる
- ・速やかに、かつ正確に、相手を不快にさせない窓口対応ができる
- ・患者の状況(高齢者、小児、妊婦、外国人、障害者)に応じた臨機応変な対応ができる

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業態度②出席時間数③テスト結果を4:3:3の比率で総合的に判断する。

## (6) 使用教材・教具

--

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 病医院接遇

W	時間	授業内容	授業方法
前期 9	1	春休み実習の振り返り(自身の行動について)	実習ファイルを振り返り内容の整理、先方評価の確認
	2	春休み実習の振り返り(実習内容について)	実習ファイルを振り返り内容の整理、先方評価の確認
前期 10	3	患者様とのコミュニケーションの取り方	グループワーク、ロールプレイング
	4	受付対応 来院患者の分類(新来、再来、紹介)	グループワーク、ロールプレイング
前期 11	5	受付対応 保険証の確認	プリントにて説明、ロールプレイング
	6	受付対応 保険証の確認	ロールプレイング
前期 13	7	受付対応 保険(公費)の確認	プリントにて説明、ロールプレイング
	8	受付対応 保険(公費)の確認	ロールプレイング
前期 14	9	受付対応 問診票の取り方	プリントにて説明、ロールプレイング
	10	受付対応 患者登録と診察券発行	医事コンピュータを使用し練習
前期 15	11	カルテ格納方法、所在管理、カルテ出しの練習	プリントにて説明、ロールプレイング
	12	カルテ格納方法、所在管理、カルテ出しの練習	ロールプレイング
前期 16	13	カルテの搬送方法	ロールプレイング
	14	会計窓口 流れ、言葉遣い、お金の扱い方	プリントにて説明、ロールプレイング
	15	会計窓口 流れ、言葉遣い、お金の扱い方	ロールプレイング
	16	会計窓口 公費受給者の対応	プリントにて説明、ロールプレイング
前期 17	17	医療英会話	ロールプレイング
	18	医療英会話	ロールプレイング
前期 18	19	医療英会話	ロールプレイング
	20	医療英会話	ロールプレイング
後期 3	21	医療英会話	ロールプレイング
	22	電話応対練習	ロールプレイング
	23	受付、会計対応の復習	ロールプレイング
	24	受付、会計対応の復習	ロールプレイング
後期 4	25	確認テスト(受付～患者登録～カルテ出し～会計)	ロールプレイング
	26	確認テスト(受付～患者登録～カルテ出し～会計)	ロールプレイング
	27	車椅子介助	プリントにて説明、ロールプレイング
	28	車椅子介助	ロールプレイング
後期 5	29	身体に障害を持つ患者様の対応(視覚)	医療秘書テキストから抜粋、ロールプレイング
	30	身体に障害を持つ患者様の対応(聴覚)	医療秘書テキストから抜粋、ロールプレイング

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 病医院接遇

W	時間	授業内容	授業方法
後期 6	31	受付対応(労災)	プリントにて説明、ロールプレイング
	32	受付対応(自賠責)	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 7	33	受付対応(第三者行為)	プリントにて説明、ロールプレイング
	34	受付対応(高齢者)	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 8	35	受付対応(小児)	プリントにて説明、ロールプレイング
	36	受付対応(クレーム)	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 9	37	会計入力練習(医事コン)	医事コンピュータを使用し練習
	38	会計入力練習(医事コン)	医事コンピュータを使用し練習
後期 10	39	会計入力練習(医事コン)	医事コンピュータを使用し練習
	40	会計入力練習(医事コン)	医事コンピュータを使用し練習
後期 11	41	レジ締め練習	プリントにて説明、ロールプレイング
	42	レジ締め練習	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 12	43	院内案内	プリントにて説明、ロールプレイング
	44	院内案内	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 14	45	上司、先輩職員とのかかわり方	プリントにて説明、ロールプレイング
	46	上司、先輩職員とのかかわり方	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 15	47	上司、先輩職員とのかかわり方	プリントにて説明、ロールプレイング
	48	上司、先輩職員とのかかわり方	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 16	49	診療科の知識	プリントにて説明、ロールプレイング
	50	診療科の知識	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 17	51	診療科の知識	プリントにて説明、ロールプレイング
	52	診療科の知識	プリントにて説明、ロールプレイング
後期 18	53	復習	ロールプレイング
	54	復習	ロールプレイング
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
薬学	選択	69時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
本間 綾	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

<p>検定試験問題集を使用し薬学検定の合格を目指すと共に、調剤薬局事務員として必要な薬学知識を習得する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

<p>薬学検定を通し、正しい薬学知識を習得し調剤薬局事務員として即戦力となる人材を育てる</p>
--

## (5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定試験の合否 ②授業内で実施の模擬試験結果 ③授業への取り組み姿勢 を4:3:3の比率で総合的に評価する。</p>
---

## (6) 使用教材・教具

<p>薬学検定試験対策&amp;過去問題3級4級、1級2級、公式テキストA～E、検定試験問題集</p>
---

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 薬学

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	導入、検定説明	検定説明、テキスト内容の解説
	2	薬学概論1	テキスト内容の解説
	3	薬学概論2	テキスト内容の解説
	4	薬学概論3	テキスト内容の解説
	5	薬学概論4	テキスト内容の解説
	6	薬学概論5	テキスト内容の解説
	7	薬学概論6	テキスト内容の解説
	8	薬学概論7	テキスト内容の解説
	9	薬学概論8	テキスト内容の解説
	10	薬学概論9	テキスト内容の解説
	11	薬学概論10	テキスト内容の解説
	12	服用方法プリント	補助プリントを使用し解説
前期 2	13	解熱鎮痛	テキスト内容の解説
	14	解熱鎮痛	テキスト内容の解説
	15	鎮咳去痰	テキスト内容の解説
	16	鎮咳去痰	テキスト内容の解説
	17	アレルギー	テキスト内容の解説
	18	鼻炎	テキスト内容の解説
	19	鼻炎	テキスト内容の解説
	20	総合感冒	テキスト内容の解説
	21	総合感冒	テキスト内容の解説
	22	服用方法テスト	補助プリントを使用しテスト
	23	胃腸薬	テキスト内容の解説
	24	胃腸薬	テキスト内容の解説
前期 3	25	目薬	テキスト内容の解説
	26	目薬	テキスト内容の解説
	27	総合感冒分類分けテスト	補助プリントを使用しテスト
	28	乗り物酔い	テキスト内容の解説
	29	肩こり・腰・筋肉痛	テキスト内容の解説
	30	外用皮膚	テキスト内容の解説



【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 薬学

W	時間	授業内容	授業方法
前期 3	31	水虫	テキスト内容の解説
	32	痔	テキスト内容の解説
	33	痔	テキスト内容の解説
	34	下痢・整腸	テキスト内容の解説
	35	下痢・整腸	テキスト内容の解説
	36	下痢・整腸	テキスト内容の解説
前期 4	37	胃腸分類分けテスト	補助プリントを使用しテスト
	38	栄養素	テキスト内容の解説
	39	栄養素	テキスト内容の解説
	40	栄養素	テキスト内容の解説
	41	トクホ	テキスト内容の解説
	42	トクホ	テキスト内容の解説
	43	下痢・便秘テスト	補助プリントを使用しテスト
	44	外用テスト	テキスト内容の解説
	45	C分野	テキスト内容の解説
前期 5	46	C分野	テキスト内容の解説
	47	C分野	テキスト内容の解説
	48	C分野	テキスト内容の解説
前期 6	49	A練習問題	検定試験問題集を使用してのテスト
	50	B分野 C分野	検定試験問題集を使用してのテスト
	51	B分野 C分野	検定試験問題集を使用してのテスト
前期 7	52	B分野 C分野	検定試験問題集を使用してのテスト
	53	B分野 C分野	検定試験問題集を使用してのテスト
	54	B分野 C分野	検定試験問題集を使用してのテスト
	55	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	56	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	57	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	58	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	59	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	60	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 薬学

W	時間	授業内容	授業方法
前期 7	61	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	62	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	63	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	64	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	65	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	66	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	67	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	68	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習
	69	練習問題	検定試験問題集を使用しての演習

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
薬局実習	選択	80時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
インターンシップ先担当者	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
調剤薬局事務	

## (3) 授業概要

調剤薬局での実習を経験し、実習指導担当者の元、調剤薬局業務全般についての知見を深めていく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

実際の調剤薬局での業務をインターンシップとして体験し、業務遂行に活かせるものとする。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業への貢献度、②マナー、実習姿勢、③報告書の記入を4:3:3の割合で評価する。

## (6) 使用教材・教具

白衣、ネームプレート、実習日誌、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 薬局実習

W	時間	授業内容	授業方法
夏期休暇	1	調剤薬局で働くための心構えを身につける	指導担当者元でのインターンシップ
初日	2	地域における社会的役割について	指導担当者元でのインターンシップ
	3	個人情報保護について	指導担当者元でのインターンシップ
	4	接遇の原則について	指導担当者元でのインターンシップ
	5	薬局内見学	指導担当者元でのインターンシップ
	6	業務見学	指導担当者元でのインターンシップ
	7	受付から会計までの流れについて	指導担当者元でのインターンシップ
	8	清掃	指導担当者元でのインターンシップ
	夏期休暇	9	清掃
2日目	10	患者受付	指導担当者元でのインターンシップ
	11	会計	指導担当者元でのインターンシップ
	12	処方箋と調剤録の確認	指導担当者元でのインターンシップ
	13	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者元でのインターンシップ
	14	医薬品・OTCの検品	指導担当者元でのインターンシップ
	15		指導担当者元でのインターンシップ
	16		指導担当者元でのインターンシップ
	夏期休暇	17	清掃
3日目	18	患者受付	指導担当者元でのインターンシップ
	19	会計	指導担当者元でのインターンシップ
	20	処方箋と調剤録の確認	指導担当者元でのインターンシップ
	21	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者元でのインターンシップ
	22	医薬品・OTCの検品	指導担当者元でのインターンシップ
	23		指導担当者元でのインターンシップ
	24		指導担当者元でのインターンシップ
	夏期休暇	25	清掃
4日目	26	患者受付	指導担当者元でのインターンシップ
	27	会計	指導担当者元でのインターンシップ
	28	処方箋と調剤録の確認	指導担当者元でのインターンシップ
	29	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者元でのインターンシップ
	30	医薬品・OTCの検品	指導担当者元でのインターンシップ

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 薬局実習
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
	31		指導担当者の元でのインターンシップ
	32		指導担当者の元でのインターンシップ
夏期休暇 5日目	33	清掃	指導担当者の元でのインターンシップ
	34	患者受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	35	会計	指導担当者の元でのインターンシップ
	36	処方箋と調剤録の確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	37	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者の元でのインターンシップ
	38	医薬品・OTCの検品	指導担当者の元でのインターンシップ
	39		指導担当者の元でのインターンシップ
	40		指導担当者の元でのインターンシップ
夏期休暇 6日目	41	清掃	指導担当者の元でのインターンシップ
	42	患者受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	43	会計	指導担当者の元でのインターンシップ
	44	処方箋と調剤録の確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	45	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者の元でのインターンシップ
	46	医薬品・OTCの検品	指導担当者の元でのインターンシップ
	47		指導担当者の元でのインターンシップ
	48		指導担当者の元でのインターンシップ
夏期休暇 7日目	49	清掃	指導担当者の元でのインターンシップ
	50	患者受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	51	会計	指導担当者の元でのインターンシップ
	52	処方箋と調剤録の確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	53	処方箋・調剤録の保管・管理	指導担当者の元でのインターンシップ
	54	医薬品・OTCの検品	指導担当者の元でのインターンシップ
	55		指導担当者の元でのインターンシップ
	56		指導担当者の元でのインターンシップ
夏期休暇 8日目	57	清掃	指導担当者の元でのインターンシップ
	58	患者受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	59	会計	指導担当者の元でのインターンシップ
	60	処方箋と調剤録の確認	指導担当者の元でのインターンシップ



## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
領域 I (医療関連法規・医療秘書実務)	選択	56時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香、本間 綾、田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

医療機関の施設について規定する医療法をはじめ、医療従事者関連の各法律、健康保険法等の社会保障関係の法律、医療秘書としての行動の在り方や心構えを学び、将来病院経営を担うために必要な知識をつける授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・医療機関の受付業務に関し、質の高いサービスが提供できる知識と技能をもつ。
  - ・医療秘書として複雑な文書の作成ができ、特に各種届書、報告書、申請書の作成について一定レベルの知識をもつ。
  - ・医療従事者の職業倫理を深く理解する。
- 医療機関の事業目的、組織、機能及び組織運営に関する用語、理論、役割及び社会的使命について専門的知識をもつ。
- ・医療機関における経営管理に関する専門的知識がある。
  - ・医療に関連する社会保障制度、社会福祉制度及び医療従事者各法の内容と基準をよく理解し、適切に応用することができる。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果②授業態度③出席時間数④提出物を3:3:2:2の比率で総合的に判断する。

## (6) 使用教材・教具

建帛社出版「医療秘書」「医療関連法規」「病院マネジメント」「医療概論」、検定試験問題集、補助プリント

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 領域 I (医療関連法規・医療秘書実務)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	動機付け	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	2	医療の質の保証、経営管理論	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	3	病院組織の種類と特徴、組織の原則	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	4	医療秘書検定1級出題内容プリント説明	動機づけプリント&内容&評価方法&進め方
	5	学会申込について	専用書式
	6	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
前期 1	7	病院会計(財務諸表の種類と役割)	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	8	損益計算書の勘定科目の区分、診療統計	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	9	確認テスト	理解度把握のためのテスト実施
	10	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	11	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	12	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
前期 2	13	医療の発展に貢献した人物、医療の国際比較	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	14	国民医療費の動向、医療機能評価	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	15	救急医療体制、災害医療体制	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	16	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	17	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	18	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
前期 3	19	変革が進む病院医療、医療介護の一体化	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	20	地域包括ケアシステム、DPC制度の現状と未来	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	21	病院マネジメントに関する用語	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	22	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	23	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	24	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
前期 4	25	確認テスト	理解度把握のためのテスト実施
	26	地域医療支援病院、特定機能病院	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	27	臨床研究中核病院、医療業に関する広告	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	28	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	29	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義
	30	医療秘書 課題プリントの補足	補助プリントを使用して講義



【別紙】

# 授 業 計 画 書

科目名 領域 I (医療関連法規・医療秘書実務)

W	時間	授業内容	授業方法
前期	5 31	医療の安全確保、開設に関する手続き	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	32	院内掲示義務、法定人員と構造設備基準	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	33	診療関係諸記録の保存期間、施設基準	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	34	公的医療機関	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	35	診療報酬の支払い方式	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	36	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	37	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	38	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
前期	6 39	保険給付額、窓口徴収額の計算	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	40	船員保険法、労災保険	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	41	公費 給付名と法別番号、給付の具体的内容	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	42	療養担当規則	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	43	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	44	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	45	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	46	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	47	医療秘書 検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
前期	7 48	医療従事者法	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	49	人口問題対策	補助プリント、テキストを使用して講義・演習
	50	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	51	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	52	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	53	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	54	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	55	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説
	56	検定試験問題集演習	検定試験問題集の実施・解説

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
領域Ⅱ(医学知識)	選択	56時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
佐藤 琴音、牧浦 舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

## (3) 授業概要

疾患の成り立ち、症状、典型的な治療法の知識を習得し、受付時の問診等での診療科の正しい判断や、診療報酬請求時に患者の不利益にならないような適正な請求を行うための医療知識を身につける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・人体の器官、臓器及び組織等について、解剖・生理の深い知識をもつ。
- ・頻度の高い傷病について、主な原因、症状、診療及び看護、解剖・生理との関係についての知識をもつ。
- ・検査及び画像診断と傷病又は臓器との関連について、深い知識をもつ。
- ・検査と薬理学の関連について、一般的な知識をもつ。
- ・医学用語・医学英語についての知識をもつ。
- ・診療録・看護録のサマリー情報を概略的に理解できる。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果②授業態度③出席時間数④提出物を3:3:2:2の比率で総合的に判断する。

## (6) 使用教材・教具

建帛社出版「臨床医学Ⅰ内科」「臨床医学Ⅱ外科」「検査・病理学」、検定試験問題集、補助プリント

## (7) 授業にあたっての留意点

--

## (8) その他

--

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 領域Ⅱ(医学知識)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	動機付け	テキスト説明など
	2	疾患の診断と治療(呼吸器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	3	疾患の診断と治療(呼吸器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	4	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	5	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	6	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	7	疾患の診断と治療(循環器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	8	疾患の診断と治療(循環器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	9	疾患の診断と治療(消化器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	10	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	11	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	12	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
前期 2	13	疾患の診断と治療(腎、泌尿器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	14	疾患の診断と治療(腎、泌尿器)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	15	疾患の診断と治療(内分泌)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	16	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	17	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
	18	医療用語、英略語	補助プリントを使用して演習
前期 3	19	疾患の診断と治療(血液疾患)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	20	疾患の診断と治療(血液疾患)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	21	疾患の診断と治療(アレルギー、膠原病)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	22	疾患の診断と治療(アレルギー、膠原病)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	23	疾患の診断と治療(感染症)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	24	疾患の診断と治療(感染症)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
前期 4	25	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	26	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	27	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	28	疾患の診断と治療(脳、脊髄)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	29	疾患の診断と治療(脳、脊髄)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	30	疾患の診断と治療(整形外科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 領域Ⅱ(医学知識)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 5	31	疾患の診断と治療(整形外科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	32	疾患の診断と治療(耳鼻科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	33	疾患の診断と治療(耳鼻科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	34	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	35	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	36	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	37	疾患の診断と治療(眼科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	38	疾患の診断と治療(眼科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
前期 6	39	疾患の診断と治療(小児科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	40	疾患の診断と治療(小児科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	41	疾患の診断と治療(小児科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	42	疾患の診断と治療(小児科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	43	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	44	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	45	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	46	疾患の診断と治療(産婦人科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
47	疾患の診断と治療(産婦人科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習	
前期 7	48	疾患の診断と治療(皮膚科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	49	疾患の診断と治療(皮膚科)	テキストと補助プリントを使用して講義・演習
	50	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	51	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	52	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	53	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	54	薬剤適応疾患	補助プリントを使用して演習
	55	問題演習	検定試験問題集を使用して演習・解説
56	問題演習	検定試験問題集を使用して演習・解説	
	57		
	58		
	59		
	60		

## (1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
領域Ⅲ(DPC)	選択	57時間
対象学科・学年	授業形態	
医療秘書・事務学科2年	対面授業と遠隔授業の併用実施	

## (2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

## (3) 授業概要

DPC/PDPSの概要を学ぶとともに算定及びレセプト作成までできるようにする。また出来高算定のうち、手術・麻酔・入院料を中心とした難解なケースについても、点数表をよく理解し正しい算定の練習する。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

## (4) 到達目標

- ・DPC/PDPSの制度概要を理解する。
- ・実際に点数表を使ってDPC/PDPS算定を行い、レセプト作成が出来る。
- ・出来高算定のうち、難解なケースも点数をよく読み込み、正確に算定できるようになる。
- ・医療秘書技能検定1級に合格する。

## (5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業への取り組み姿勢 ②授業内に行う模擬試験結果 ③医療秘書技能検定試験合否 を4:3:3の比率で総合的に評価する。

## (6) 使用教材・教具

診療点数早見表、DPC点数早見表、DPCの基礎知識、電卓、補助プリント、筆記用具

## (7) 授業にあたっての留意点

## (8) その他

【別紙】

# 授 業 計 画 書

 科目名 領域Ⅲ(DPC)
 

---

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	麻酔の算定の仕方	補助プリントを使用しての解説、演習
	2	麻酔の算定の仕方	補助プリントを使用しての解説、演習
	3	麻酔の算定の仕方	補助プリントを使用しての解説、演習
	4	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	5	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	6	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	7	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	8	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	9	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	10	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	11	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	12	DPCの仕組み	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
前期 2	13	DPCの算定	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	14	DPCの算定	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	15	DPCの算定	テキスト、補助プリントを使用しての講義、問題演習
	16	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	17	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	18	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
前期 3	19	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	20	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	21	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	22	DPCの算定	補助プリントを使用しての解説、演習
	23	DPCの算定	補助プリントを使用しての解説、演習
	24	DPCの算定	補助プリントを使用しての解説、演習
前期 4	25	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	26	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	27	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	28	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	29	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習
	30	出来高練習問題	補助プリントを使用しての解説、演習

【別紙】

## 授 業 計 画 書

科目名 領域Ⅲ(DPC)

W	時間	授業内容	授業方法
前期 4	31	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	32	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	33	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
前期 5	34	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	35	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	36	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	37	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	38	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	39	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	40	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	41	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	42	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
前期 6	43	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	44	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	45	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	46	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	47	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	48	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	49	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	50	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	51	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
前期 7	52	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	53	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	54	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	55	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	56	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習
	57	模擬試験	医療秘書検定1級問題答案練習